知って、好きになって、元気になろう

郷土富士見検定問題集

解説つき

NPO 法人　富士見市民大学

郷土富士見検定
問題集

NPO 法人富士見市民大学

「郷土富士見検定・問題集」発刊にあたって

富士見は本年（平成 24 年）4 月、市制施行 40 周年を迎えた。市民から 2,500 通の「名前応募」の中から選ばれた市のマスコットキャラクター『ふわっぴー』は、愛と絆をテーマに次世代を元気で、楽しく、賑わいのあるまち（市）を目指す「シンボル」として活動をはじめました。

富士見市は、埼玉県の南東部に位置し、その南西部が武蔵野台地、北東部が荒川、新河岸川の上に広がった穀倉地帯です。都心から 30 キロ圏内にあり、緑と水に囲まれた田園地帯の“原風景”が残る、近郊住宅都市といえます。

今は昔、縄文前期前から先人たちが“くらし”を営んで“ムラ”を構成されていた遺跡－小貝塚からなる大規模な貝塚群・水子貝塚（昭和 44 年（1969）国指定)、竪穴住居跡などは、往時の集落の形態を見ることが出来ます。

戦国時代では、武蔵七党（武蔵国に存在した同族集的武士団）の村山党・金子氏の血を引く難波田氏一族の城跡があり、庶民の“くらし”のなかでの信仰、板碑などにみられるように“自然を畏れ敬い、自然との関係を生活の中で生かし、自然との“共生”を大切にする文化を育んできました。

稲作を中心とする農業技術の進歩は、交通（街道、舟運など）の発展にともなって、産物の流通も盛んになり、村も集落としての整備を促しました。同時に災害、度重なる水害、洪水に対するたたかい、飢饉との対応には、村ぐるみの助け合い―扶助精神の高揚となり“もやい”という言葉も生まれました。

歳月が移ろい社会の進歩に伴って“現在”がある。なかでも舟運から鉄道への“交通”の進化は、人の流れを一変させるものとなり富士見市は「住宅都市」化へと変貌させていきました。

2010 年 2 月、合同フォーラム「エコミュージアムの可能性」の集会の中で、「郷土富士見検定」を発表し“知って、好きになって、市民として元気になろう”と「3Ｓ」運動を呼びかけました。

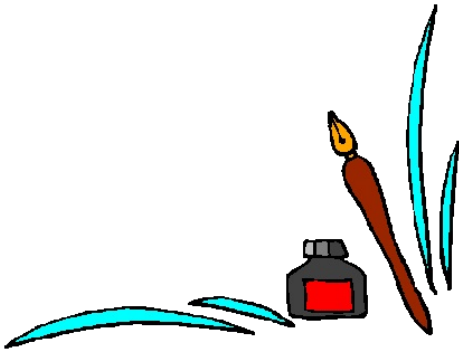
以来 2 年有余、ふじみ学講座・入門編からはじまり、「研究ゼミ」

が中心となって「問題集作成」づくりへと駒をすすめました。この間、水子貝塚資料館、難波田城資料館の学芸員、市民学芸員、市内居住の文化人、専門家の方々のご指導、ご援助をいただきましたこと改めて感謝と御礼を申し上げたいと思います。

自分の住んでいるまち（市）を知ること、好きになることは、まちを豊かに、賑わいのあるまちに、かりたてる力を創生するのです。この問題集が市民のみなさんの“元気になる栄養剤”になれば本当に幸せです。

この問題集は、市民大学の「講座」の中で学んだものから作成したものです。まだまだ不十分な面が多くありますが、さらに充実させるために、ご指導、ご助言をお願い申し上げます。

ＮＰＯ法人富士見市民大学
理事長　　小 山 健 次 郎



目　　次

第1章　富士見の自然・地理

（１）　樹木・草花・・・・・P1～23
（２）　河川・公園・生き物・P24～57
（３）　湧水・地理・・・・・P58～80

第2章　富士見の歴史

（１）　原始・古代・・・・・P81～87
（２）　中世・・・・・・・・P88～93
（３）　近世・・・・・・・・P94～103
（４）　近現代・・・・・・・P104～111
（５）　伝説・石造物・・・・P112～123
（６）　神社・寺院・・・・・P124～133
（７）　水子貝塚公園・・・・P134～137
（８）　難波田城公園・・・・P138～145

第3章　富士見の文化・くらし

（１）　教育・・・・・・・・P147～153
（２）　文化・くらし・・・・P154～185
（３）　農・商・工業・・・・P186～189
（４）　イベント・その他・・P190～203

巻 末　富士見の方言・・・・・・P204～205
参考文献・・・・・・・・・P206～207
作成協力・・・・・・・・P208

表紙デザイン･･･　【題名】「温故知新」　【作者】土師魁周（はじかいしゅう）

富士見の歴史を知り、自然・文化・くらしの中での先人たちの知恵と体験を学び、現代に生きるよろこび、明日への展望を切りひらく糧となる。

第１章
富士見の自然・地理

(1)樹木・草花
(2)河川・公園・生き物
(3)湧き水・地理

諏訪神社の欅

【問題 1】富士見市の木に指定され、諏訪神社（諏訪 2 丁目）境内に市指定天然記念物にもなっている木は。

①藤（フジ）
②欅（ケヤキ）
③榧（カヤ）
④銀杏（イチョウ）

【問題 2】諏訪神社（諏訪 2 丁目）境内には市指定天然記念物の欅（ケヤキ）があるが、樹齢約何年か。

①約 300 年
②約 400 年
③約 500 年
④約 600 年

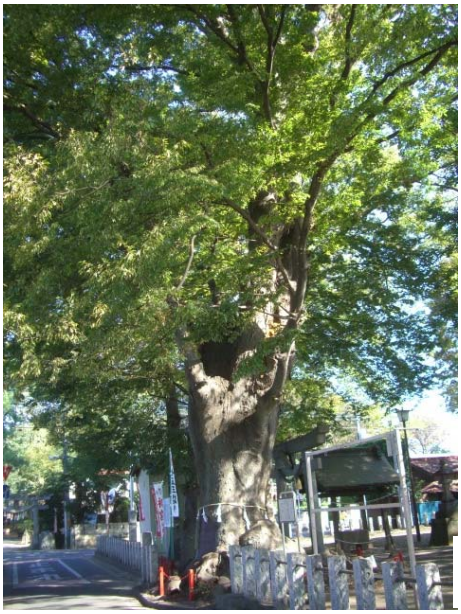
【問題 3】諏訪神社（諏訪 2 丁目）境内には市指定天然記念物の欅（ケヤキ）があるが、幹周約何ｍか。

①約 3.8ｍ
②約 4.5ｍ
③約 5.6ｍ
④約 6.3ｍ

【問題 1～3 解説】昭和 57 年（1982）市政施行 10 周年記念に制定された富士見市の木は、欅（ケヤキ）です。諏訪神社（諏訪 2 丁目）境内に市指定天然記念物の欅があります。富士見市保存樹指定第１号で、樹齢約 500 年・樹高約 20m・幹周約 6.3m です。ニレ科の日本の代表的な落葉広葉樹で、埼玉県の木でもあります。古くから市内に自生しており、現在も市内で良く見かけられ、成長が早く雄大な樹形は、富士見市発展との結びつきを感じさせます。また昔は１本の欅が一家の生計を救うことがあったという貴重な木でもあります。

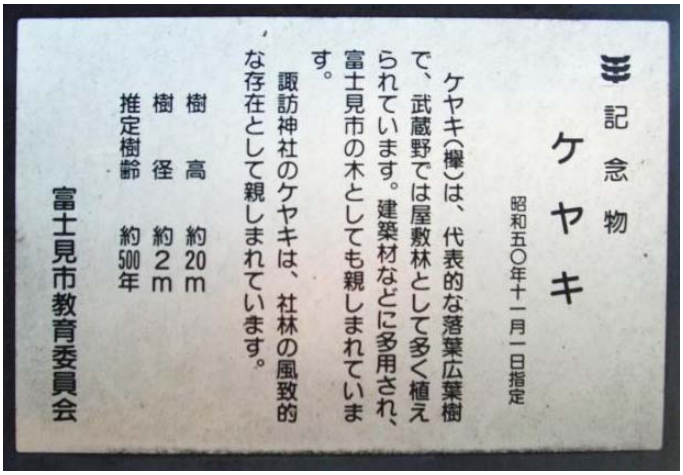
答え②

答え③



諏訪神社の欅

答え④



【問題 4】富士見市の花として指定されているのは、何という花か。

①藤袴（フジバカマ）
②菖蒲（アヤメ）
③藤（フジ）
④桜（サクラ）

【問題 5】勝瀬の榛名神社境内に有り、市指定天然記念物になっているのは何という木か。

①銀杏（イチョウ）
②欅（ケヤキ）
③桜（サクラ）
④杉（スギ）

【問題 6】勝瀬の榛名神社境内には、市指定天然記念物の銀杏（イチョウ）があるが、樹齢約何年か。

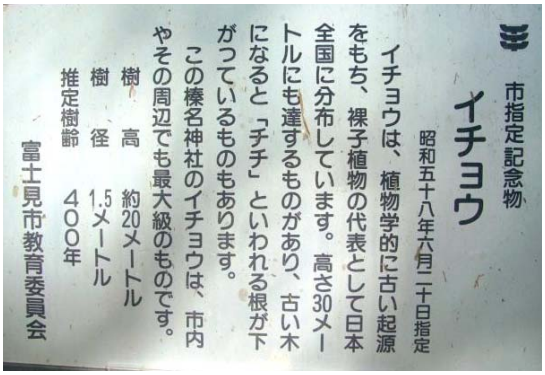
①約 300 年
②約 400 年
③約 500 年
④約 600 年

【問題 4 解説　】富士見市の花は、昭和 57 年（1982）市政施行 10 周年記念に制定された「藤」です。市役所周辺や駅前などにも棚づくりされており、4～5 月頃に紫・白・ピンク等沢山の色の花が咲きます。フジ属マメ科のつる性落葉樹で、寿命が長く、樹齢 1200 余年とも言われます。優雅さと気品があり、ひとつひとつの花が集まって咲く様子が、人と人との語り合いや団結を感じさせ、富士見市民がひとつひとつの花のようにとの思いがあります。
答え③

【問題 5～7 解説】勝瀬の榛名神社境内に市指定天然記念物の銀杏（イチョウ）があります。樹齢約 400 年・樹高約 20m・幹周約 4.7m です。銀杏には雄木と雌木があり、雌木のみに果実を付け「ぎんなん」と呼び 11 月頃熟成し落下します。食用として好まれるが、食べ過ぎると（特に幼児）中毒になることがあります。昔から、銀杏には気根と呼ばれる垂れ下がった乳房状の突起が生じ雌木（めぎ）に祈願（きがん）すると乳の出が良くなると伝えられています。
答え①

答え②

榛名神社の銀杏



【問題 7】勝瀬の榛名神社境内には、市指定天然記念物の銀杏（イチョウ）があるが、幹周は約何ｍか。

①3.6ｍ
②4.7ｍ
③5.4ｍ
④6.3ｍ

【問題 8】樹齢約 500 年と言われ、市の天然記念物に指定されている諏訪の瑠璃光寺（るりこうじ）境内にあるのは何という木か。

①榧（カヤ）
②欅（ケヤキ）
③銀杏（イチョウ）
④杉（スギ）

【問題 9】諏訪の瑠璃光寺境内には市指定天然記念物の榧（カヤ）があるが、樹齢約何年か。

①約 300 年
②約 400 年
③約 500 年
④約 600 年

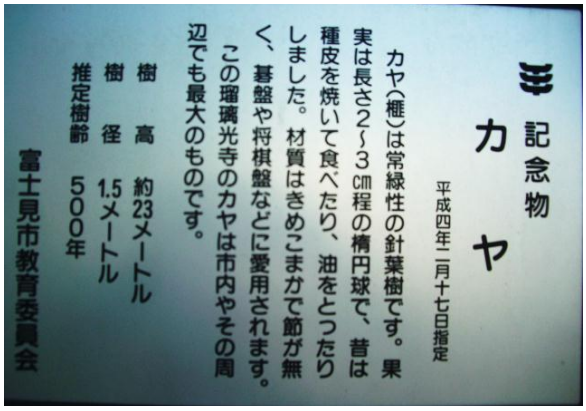
答え②

【問題 8～11 解説】榧（カヤ）はイチイ科の常緑針葉樹です。諏訪の瑠璃光寺(るりこうじ)境内には、市指定天然記念物の榧があります。通常榧の大木はめずらしいといわれますが，樹齢約 500 年・樹高約 23m・幹周約 4.7mです。果実は長さ 2～3ｃｍ程の楕円形で、昔は種子を焼いて食べたり、油をとったりしました。材質はきめこまやかで節が無く、碁盤や将棋盤などに利用されています。

答え①

答え③

瑠璃光寺の榧



【問題 10】諏訪の瑠璃光寺境内には市指定天然記念物の榧（カヤ）があるが、幹周は約何ｍか。

①約 3.6ｍ
②約 4.7ｍ
③約 5.4ｍ
④約 6.3ｍ

【問題 11】諏訪の瑠璃光寺境内には市指定天然記念物の榧（カヤ）があるが、樹高は約何ｍか。

①18ｍ
②20ｍ
③23ｍ
④26ｍ

【問題 12】生きている化石とも言われ、市内の学校や公園に多く植えられて成長すると 30ｍ位の高さになる木は何か。

①銀杏（イチョウ）
②ヒマラヤ杉
③メタセコイア
④欅（ケヤキ）

答え②

答え③

【問題 12～13 解説】メタセコイアは、スギ科の落葉針葉樹です、和名は曙杉と言い、成長すると樹高 25～30m・直径 1.5mくらいになります。化石として発見されたため絶滅種とされていましたが、1945 年中国四川省で現存することが確認され「生きている化石」と呼ばれています。日本では学校や公園に植えられることが多く、市内の学校の多くに 2 本くらいずつ植えられています。特に富士見台中学校には大きな木が 2 本、勝瀬小学校には 10 本の並木があります。ほとんどが公園や学校で一番高い木に育っています。
答え③

【問題 13】市内の学校や公園に多く植えられているメタセコイア（和名曙杉）は、どんな木か。

①常緑針葉樹
②落葉針葉樹
③常緑広葉樹
④落葉広葉樹

【問題 14】葉に棘（とげ）があり、古くは邪鬼の侵入を防ぐと信じられ、市内の農家の生垣などに多く植えられている木は何か。

①桐（キリ）
②椚（クヌギ）
③柊（ヒイラギ）
④榧（カヤ）

【問題 15】富士見市の雑木林や公園で、直径約２ｃｍの丸い「ドングリ」を付けるのは、何という木か。

①椚（クヌギ）
②榧（カヤ）
③銀杏（イチョウ）
④棗（ナツメ）

答え②

富士見台中メタセコイア

【問題 14 解説】柊（ヒイラギ）は、モクセイ科の常緑小高木で葉は卵型皮質で光沢が有り鋭い棘（とげ）があります。老木になると棘はしだいに少なくなります。防犯目的で生垣に利用されることも多く、市内でも農家など古くから家の生垣として植えられています。また邪鬼（じゃき）の侵入（しんにゅう）を防ぐと信じられ、庭木に使われました。節分の夜に柊の枝・大豆の枝・イワシの頭を門戸に飾ると悪鬼を払うと言われています。
答え③

【問題 15 解説】椚（クヌギ）は、ブナ科の落葉樹で武蔵野台地東端の富士見市でも雑木林の代表的な木として、落ち葉は堆肥作りに使われ、昔は枝や古くなった木は切られて燃料や木炭として使われていました。椚の実は直径約２ｃｍで丸く「ドングリ」と言います。
答え①

【問題 16】鶴瀬駅開設１周年を記念して植えられたが、駅の整備事業により、市役所前に移されて、秋には食用となる果実が実りその形が茶道具の名前になった木は何か。

①銀杏（イチョウ）
②椎（シイ）
③無花果（イチジク）
④棗（ナツメ）

【問題 17】下南畑に有る興禅寺境内にあり、葉の裏にとがった物で傷つけて黒く変色させて、文字を書けることから「葉書の木」とも言われている木の名前は何か。

①多羅葉（タラヨウ）
②桜（サクラ）
③椎（シイ）
④楢（ナラ）

【問題 18】市役所入口に「平和の鐘」と並べて植えられている「広島の原爆からよみがえった木」と言われている木の名前は何か。

①多羅葉（タラヨウ）
②柏（カシワ）
③青桐（アオギリ）
④銀杏（イチョウ）

【問題 16 解説】棗（ナツメ）は、クロウメモドキ科の落葉小高木で原産地は中国とされ、6 月頃黄白色の花が咲き、秋に果実は 2～3ｃｍの楕円形で暗赤色に熟し食用・強壮剤となります。鶴瀬駅開設 1 周年を記念して駅前に植えられました。当時流行していた唱歌「水師営の会見」にある「棗の木」によるものといわれ、駅の整備事業で伐採がきまりましたが、市民の保存を願う声により、市役所前に移植されました。茶道具の薄茶器の一種「なつめ」は棗の実に形が似ていることから名付けられました。

答え④

左の写真は市役所前のナツメの木

【問題 17 解説】多羅葉（タラヨウ）は、モチノキ科の常緑高木で暖地に自生しており静岡以西に分布しているが、各地のお寺・神社に多く植えられています。葉は肉厚で 20ｃｍほどあり長楕円形で葉の裏面をとがった物で傷つけると黒く変色し文字を書けることから「葉書の木」と言われ、「郵便局の木」と定められています。興禅寺（下南畑）境内に 2 本植えられています。

答え①

左の写真は興禅寺境内の
タラヨウ

【問題 18 解説】青桐（アオギリ）は、アオギリ科の落葉高木で中国原産、樹皮が緑色で葉は大きく夏に黄白色 5 弁の小花を群生します。果実は熟すと舟形で 5 片に割れ小球状の種をつけます。広島の原爆で爆風により幹の半分がえぐられましたが、翌春に芽吹き、人々に生きる希望をあたえました。現在も傷跡を包むように成長を続けており、「広島の原爆よりよみがえった木」といわれ、その種から育てられた木が市役所前の「平和の鐘」と並び植えられています。鶴瀬公民館にも植えられています。

答え③

左の写真は市役所前の「平和の鐘」と「青桐」

【問題 19】市民の記念樹として山崎公園の北側の富士見江川沿いに植えられた木の名前は何か。

①柳（ヤナギ）
②河津桜（カワヅザクラ）
③銀杏（イチョウ）
④藤（フジ）

【問題 20】市民の記念樹を平成 23 年（2011）に山崎公園の近くに植えましたが、平成 24 年（2012）にも実施されました。新しく植えた場所は何処か。

①市民プール近く
②第二運動公園の脇
③蛇島遊水地のまわり
④消防署のまわり

【問題 21】砂川堀両岸に、春にはきれいな花を咲かせる散策ルートがあります。その花はなにか。

①椿（つばき）
②桜（さくら）
③藤（ふじ）
④薔薇（ばら）

【問題 19～20 解説】河津桜（カワヅザクラ）を平成 23 年（2011）山崎公園の北側富士見江川沿いに市民の記念樹として、応募者の中から選び植樹されています。平成 24 年（2012）は富士見市みどり野南の「第二運動公園」東側道路沿いに 30 本植えられました。
答え②

答え②

富士見江川沿いの河津桜（カワズザクラ）

【問題 21 解説】富士見市勝瀬にある桜並木は、勝瀬小学校付近から富士見ガーデンビーチまでの砂川堀両岸に約 160 本のソメイヨシノが植えられています。春には桜の花、初夏には新緑が楽しめる散策ルートとなって、市民の憩いの場になっています。
答え②

砂川堀の桜

【問題 22】市内水子の雑木林の縁に「春を告げる花」として赤紫色の花を咲かせ、根から食材の澱粉（でんぷん）がとれる植物の名前は何か。

①れんげ
②かたくり
③よめな
④あざみ

【問題 23】春の七草は市内の田園地帯のあぜ道などに多く見られるが、次のうち春の七草に入っていないものはどれか。

①すずしろ
②なずな
③よめな
④せり

【問題 24】春の七草は市内の田園地帯のあぜ道などに多く見られるが、「すずしろ」と言われる植物の名前は何か。

①だいこん
②かぶ
③しろつめくさ
④はこべ

【問題 22 解説】片栗（かたくり）はユリ科のカタクリ属、富士見市水子に咲く貴重な花となっています。早春を告げる花として、丘の北側の裾などに赤紫色の花をさかせます。根茎から作られる澱粉（でんぷん）は片栗粉として調理に使われますが、現在はジャガイモ・サツマイモから主につくられています。
答え②

片栗（かたくり）

【問題 23～24 解説】春の七草は、せり・薺（なずな）「ぺんぺん草」・御形（ごぎょう）「母子草」・繁縷（はこべ）「はこべら」・仏の座「タビラコ」・菘（すずな）「かぶ」・蘿蔔（すずしろ）「大根」です。市内では主に田園地帯に多く、田のあぜ道や空き地、草原などに見ることが出来ます。秋の七草とともにぜひ覚えておいてほしいものの一つです。
答③

答え①

【問題 25】市内の河川の土手や田園地帯のあぜ道などに多くみられ、春の色と香りを楽しむ草餅にする植物の名前は何か。

①春菊
②クローバー
③よもぎ
④なずな

【問題 26】市内の河川の土手や田園地帯のあぜ道などに多くみられる蓬（よもぎ）は、昔から民間医療に使われてきたが、その蓬から作ったものは何か。

①しっぷ薬
②ぬり薬
③もぐさ
④のみ薬

【問題 27】市内では林のふちや生垣・竹垣などに絡んで、夏の夜にレースの様な花を咲かせ、晩秋に 5～7ｃｍの熟すと赤い実を付ける「うり」の名前はなにか。

①からすうり
②すずめうり
③にがうり
④はやとうり

【問題 25～26 解説】蓬（よもぎ）は「餅草」ともいわれ、早春に若葉を摘み餅や団子につき込み、その香りと色に春を感じ元気をもらうことが出来ます。葉の裏面の綿毛から灸の「もぐさ」をつくり、民間医療に利用されることも多く、五月の節句には軒に挿し魔除（まよけ）にします。市内では河川の土手や田園地帯のあぜ道などに春一番に芽吹きます。かがんで蓬摘みをしている姿もよくみられます。
答え③

答え③

【問題 27 解説】烏瓜（からすうり）ウリ科の多年草、雌雄異株で夏にレースの様な 8～10ｃｍの美しい花を夜に開き、日の出前にはしぼみます。晩秋に 5～7ｃｍの熟すと赤い楕円形の実を吊り下げます。地下にはデンプンやタンパク質を含んだ芋上の塊根（かいこん）があり、これで越冬します。市内では林のふちや民家の生垣・竹垣などに絡んでいることが多くあります。
答え①

【問題 28】秋の七草の一つで市内でも土手や林に自生している。根が食料として使われるものはどれか。

①はぎ
②くず
③ふじばかま
④ききょう

【問題 29】難波田城公園の池に行田市より移植した花の名前は何と言うか。

①こなぎ
②すいれん
③はす
④こうほね

【問題 30】市内の道端や公園など多くの所でみかけ、昔オランダからの輸入品の詰め物としてやって来た草で、牧草にも適しており全国に広まった植物の名前は何か。

①よもぎ
②クローバー
③はこべ
④たねつけばな

【問題 28 解説】葛（くず）マメ科の多年草、蔓（つる）の長さは 10 m以上になります。7～9 月頃に紅紫色の花が咲き、秋に豆果をつけます。秋の七草のひとつで、根は太く大きく多量のでんぷんを含んでおり、葛粉が食用や薬用となります。和名は奈良県の国栖（くす）が葛粉の産地であったことに由来します。山野に多く市内でも土手や林に自生しています。
答え②

【問題 29 解説】蓮（はす）スイレン科の多年草、水田・池・お堀・沼などで長い花柄を水上に抜出て約 60ｃｍに達する紅色・紅紫色・白色などの美しい花をつけます、果実は逆円錐形の花床に埋没して楕円形をしています。和名は蜂巣の略で、果実の入った花床が蜂の巣ににています。仏教とのかかわりが強く、寺院の池や池沼に多く見られます。難波田城公園の池には行田市より移植した蓮があります。
答え③

行田市より移植した蓮

【問題 30 解説】クローバー和名「しろつめくさ」マメ科の多年草、葉は 3 個の小葉からなります。夏に長軸を出し白色の蝶形花を多数球状に集めて付けます。四葉のクローバーは幸福のしるしとされ、日本各地に自生化し緑肥や牧草となります。花にはミツバチが良い蜜（みつ）を集めに群がります。市内でも道端や公園など多くの場所でみかけます。
昔オランダからの輸入品の詰め物として入ってきました。他に「あかつめくさ」もあります。

答え②

【問題 31】市内南畑など里方で見られ、春の田園を紅紫色に染めて咲くレンゲソウは何のために、栽培しているのか。

①お花見
②虫よけ
③雑草よけ
④肥料

【問題 32】石井緑地公園の木陰に咲いている「キツネノカミソリ」の花の色は何色か。

①銀色
②白色
③紫色
④黄赤色

【問題 31 解説】蓮華草（れんげそう）は、マメ科の二年草で、紅紫色の蝶形花を花茎の先端に輪状に付けます。中国原産で緑肥「肥料」（根粒菌と共生して空気中の窒素を固定する）・飼料作物として古くから栽培され、北海道を除く全国の田で春を彩ってきました。市内南畑など里方で見かけます。
答え④

【問題 32 解説】狐の剃刀（きつねのかみそり）は、ヒガンバナ科の多年草で、葉は剃刀に似ており、この名が付きました。晩夏には枯れて、その後に花茎を出して黄赤色のユリに似た 6 弁の美しい花をつける有毒植物です。市内の石井緑地公園で見ることができます。
答え④

狐の剃刀（きつねのかみそり）

【問題 1】東大久保地区を流れ、富士見市・さいたま市・川越市との境となっている旧荒川の名前は何か。

①柳瀬川
②びん沼川
③新河岸川
④砂川堀

【問題 2】東大久保にある新河岸川放水路は、新河岸川から分流してどの川に流れるようにしたか。

①荒川
②富士見江川
③びん沼川
④砂川堀

【問題 3】新河岸川は川越より富士見市内を流れ下り他の川を合流して、最後に或る川に合流し東京湾にそそぐが、或る川とは何か。

①荒川
②江戸川
③利根川
④隅田川

【問題１解説】びん沼川は、旧荒川の流れを直線化したことで取り残された一級河川です。船渡橋より少し上流で大きくカーブしている場所に三本木橋があり、新河岸川放水路と合流しています。川越市古谷本郷から南畑排水機場で荒川にポンプで排水されるまでの長さ約６ｋｍの川です。富士見市（東大久保）・さいたま市・川越市との境となっており、びん沼自然公園・びん沼公園が川沿いにあります。普段はほとんど流れが無いこともあり、絶好の釣り場となっています。
答え②

左の写真は新河岸川

【問題２解説】新河岸川放水路は、川越市の渋井水門で新河岸川と分流して三本木橋（東大久保）でびん沼川に合流する一級河川です。長さ約 1.2ｋｍで放水路がそのまま続いているように見えますが、三本木橋脇に「新河岸川放水路最下流端」の石碑があり確認できます。びん沼川と同じように普段はほとんど流れが無く絶好の釣り場となっています。
答え③

左の写真は富士見江川

【問題 3～5 解説】新河岸川は、埼玉県から東京都を流れる長さ約３4.6ｋｍの一級河川です。川越市八幡橋を起点として川越市の渋井水門で新河岸川放水路と分岐し、その後富士見市内で砂川堀・富士見江川、志木市内に入り柳瀬川を合流して、本流は東京都北区で隅田川に合流しています。
答え④

荒川

【問題 4】新河岸川の流れを調整する為に人工的に造られたものは何か。

①新河岸川放水路
②新河岸川遊水地
③新河岸川ダム
④新河岸川渡し船

【問題 5】富士見市を流れる新河岸川は他の川と合流したり分岐したりしているが、合流していない川は。

①柳瀬川
②富士見江川
③砂川堀
④びん沼川

【問題 6】富士見市を流れるおもな川は８河川あるが富士見市を流れていない川は。

①入間川
②荒川
③新河岸川放水路
④びん沼川

答え①

答え④

新河岸川

【問題６解説】富士見市を流れる主な川は、荒川・新河岸川・新河岸川放水路・柳瀬川・びん沼川・砂川堀・富士見江川・権平川の８河川があります。
答え①

【問題 7】富士見市と志木市との境を蛇行して流れていたが、現在は河川改修され、両岸に境界が入り組んでいる川は。

①新河岸川
②荒川
③びん沼川
④柳瀬川

【問題 8】市内南畑新田付近を流れ、上流に日本一の川幅をもち、川沿いに富士見市運動公園がある一級河川は。

①荒川
②利根川
③新河岸川
④入間川

【問題 9】富士見市の南畑新田付近を流れる荒川上流には、日本一のものがあるがそれは何か。

①川の長さ
②河の流域面積
③川の支流数
④川の幅

【問題７解説】柳瀬川は狭山湖にそそぐ多くの沢を水源としていましたが、現在は狭山湖の放水は無く狭山湖下が川の始まりとなっています。清瀬水再生センターの放流水を合わせて志木市で新河岸川に合流する一級河川です。長さ約 26.8km で、古くは志木市との境界を蛇行して流れ、たびたび水害を引き起こしてきました。その後、河川改修を行い直線化した結果両岸に少しずつ志木市と富士見市の境界が入り組んでいます。富士見橋は両岸とも富士見市となっています。
答え④

【問題 8～9 解説】富士見市の南畑新田付近を流れる荒川は、奥秩父の甲武信ケ岳（こぶしがたけ）を水源として埼玉県から東京湾に注ぐ一級河川です。最大川幅 2537m・長さ約 173km・流域面積約 2940 平方ｋｍで日本一の川幅(御成橋付近)となっています。富士見市を流れる他の河川と合流しており、新岩淵水門（北区）で隅田川と分岐しています。川沿いに富士見市最大の都市公園「富士見市運動公園」があります。
答え①

答え④

荒川

富士見市運動公園

【問題 10】富士見市・所沢市・ふじみ野市・三芳町の 3 市 1 町を流れる川は。

①新河岸川
②富士見江川
③びん沼川
④砂川堀

【問題 11】多くの湧き水を集めて流れ、川沿いにはいくつもの緑の散歩道、親水公園、山崎公園のある川は。

①びん沼川
②富士見江川
③柳瀬川
④新河岸川

【問題 12】富士見江川は多くの湧き水を集めて流れているが、最後にどの川に合流しているか。

①荒川
②柳瀬川
③びん沼川
④新河岸川

【問題 10 解説】砂川堀は、富士見市・所沢市・ふじみ野市・三芳町の 3 市 1 町を流れる、砂川堀雨水幹線とも呼ばれます。狭山湖付近を水源として富士見市で新河岸川に合流している長さ 17.5km の川です。昭和 45 年（1970）から平成 8 年（1996）まで河川改修が行われました。勝瀬小学校付近から富士見ガーデンビーチ付近までの約 1km に渡り、川沿いに桜並木があり、春には花見でにぎわいます。
答え④

左の写真は砂川堀の桜並木

【問題 11～12 解説】富士見江川は丸池を水源としていましたが、現在丸池は無く地下水を水源として、新河岸川の木染橋上流の鶴馬で合流しています。崖線（がいせん）にそって主に湧き水を集めて流れている短い川ですが、水が枯れることはありません。川沿には江川プロムナード・緑の散歩道・親水公園・山崎公園などがあります。
答え②

答え④

富士見江川

【問題 13】富士見市内には多くの川があり、橋もたくさんあるが、富士見市内に無い橋は。

①治水橋
②富士見橋
③木染橋
④船渡橋

【問題 14】富士見市内で柳瀬川に架かる橋の名前は何か。

①木染橋
②上手橋
③富士見橋
④花影橋

【問題 13～14 解説】富士見市には主に 8 河川あります。橋は沢山ありますが、荒川に架かる富士見市の橋はありません。主な橋を川の上流から見ると次の通りです。

＜び　ん　沼　川＞　船渡橋・びん沼橋・砂塚橋
＜新　河　岸　川＞　新伊佐島橋・伊佐島橋・南畑橋・第１新河岸橋・木染橋・岡坂橋
＜新河岸川放水路＞　東大久保橋・上手橋・金子街道橋・三本木橋
＜砂　　川　　堀＞　竹際橋・渡戸橋・花影橋・勝瀬橋
＜富 士 見 江 川＞　丸池橋・駒形橋・鶴馬橋・あすなろ橋・鶴関橋・江川橋・打越橋・曙橋・油橋・寿橋・鶉橋
＜柳　　瀬　　川＞　富士見橋

答え①

答え③

【問題 15】市役所近くで、中央図書館と市民総合体育館の間にあり、藤棚や花壇が楽しめる公園はどこか。

①文化の杜公園
②山崎公園
③富士見市運動公園
④みずほ台中央公園

【問題 16】富士見江川沿いにある山崎公園では 4 月は桜に始まり色々な花が楽しめ、6 月には多くの人が見物に訪れる人気の高い花は何か。

①菜の花（ナノハナ）
②梅（ウメ）
③花菖蒲（ハナショウブ）
④藤（フジ）

【問題 15 解説】文化の杜公園（鶴馬）は、平成 15 年（2003）に開設しました。市役所・中央図書館・市民総合体育館に囲まれた所にあり、藤棚や花壇が楽しめます。富士見ふるさと祭りや子どもフェスティバルの催し会場でもあります。
答え①

文化の杜公園

藤（フジ）

【問題 16 解説】山崎公園（鶴馬・水子）は、せせらぎ菖蒲園（しょうぶえん）とも言い、市制施行 20 周年記念事業として整備された公園です。平成 6 年（1994）開設した市内でも人気の高い公園となりました。4 月は桜・6 月は花菖蒲（ハナショウブ）紫陽花（アジサイ）・9 月は彼岸花が咲きます。特に花菖蒲は約 60 種 5000 株が見られ人気が高く、多くの方が見物におとずれます。約 180mのせせらぎが流れており、子どもたちにも喜ばれています。
答え③

山崎公園の桜

山崎公園の花菖蒲（ハナショウブ）

【問題 18】野鳥の観察が出来る見晴らしデッキや、水辺の自然を楽しめて、野外レクリエーションの場としても人気の市内最大級の公園はどこか。

①親水公園
②石井緑地公園
③谷津の森公園
④びん沼自然公園

【問題 19】富士見市運動公園では屋外スポーツがいろいろ楽しめるが、次のうち該当する施設は何か。

①ゴルフ
②テニス
③バスケット
④ラグビー

【問題 20】みずほ台中央公園は春には桜が咲き、花見に多くの人が見えるが、公園の桜の木は樹齢（じゅれい）何年くらいか。

①約 20 年
②約 30 年
③約 40 年
④約 60 年

【問題 18 解説】びん沼自然公園（東大久保）は、約 5.7 平方 km あり、平成 14 年（2002）4 月開設し、園内には在来種を中心にシラカシ・クヌギ･エゴノキ･ハンノキなど 4700 本が植えられています。1 周 1.8km の園路がめぐり、見晴らしデッキ・芝生広場などがあり、野鳥や昆虫などの自然観察や、野外レクリエーションの場として市民に利用されています。平成 17 年（2005）「関東の富士見百景」にびん沼周辺が選ばれました。
答え④

びん沼川の桜

【問題 19 解説】富士見市運動公園は、昭和 51 年（1976）10 月開設され、荒川の河川敷に作られた市内最大の都市公園（運動公園）で多くの屋外スポーツが楽しめます。野球場２面・ミニ野球場２面・テニスコート 6 面・サッカー場・陸上トラック・駐車場 150 台分が整備されています。
答え②

富士見市運動公園

【問題 20 解説】みずほ台中央公園（東みずほ台）は、みずほ台駅東口から東北へ約 300mの住宅地の中に位置しています。多目的広場の周囲に樹齢 40 年程の桜が約 50 本植えられています。春には桜の花を夏には池で子供たちが水遊びを楽しめる公園です。また東みずほ台祭りの会場でもあります。
答え③

みずほ台中央公園の桜

【問題 21】浦和所沢バイパスより少し入った所にある石井緑地公園「どんぐり山」（水子）では、色々と自然を楽しむことが出来るが、無いものは。

①くぬぎ林
②キツネノカミソリ
③湧き水
④大銀杏（オオイチョウ）

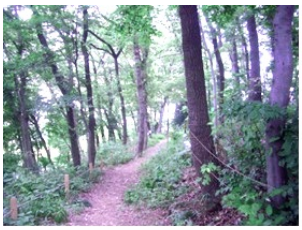
【問題 22】水源を保護するために倶利伽羅不動明王(くりからふどうみょうおう)の塔を造立した、市内第一位の湧出量をほこる湧き水がある公園は。

①栗谷津公園（針ヶ谷）
②親水公園（関沢）
③むさし野緑地公園（鶴瀬西）
④びん沼自然公園（東大久保）

【問題 23】市内には多くの湧き水の出る公園があるが、湧き水の無い公園はどこか。

①むさしの緑地公園（鶴瀬西）
②谷津の森公園（鶴馬）
③石井緑地公園（水子）
④親水公園（関沢）

【問題 21 解説】石井緑地公園「どんぐり山」（水子）は、平成 11 年（1999）3 月に開設されました。浦和所沢バイパスより少し入った所にあり、くぬぎ林の根元に草花のキツネノカミソリ（ヒガンバナ科）が 8 月の半ばころ咲き乱れます。斜面下に数か所の湧き水が小さな池や小川をつくっています。公園の中央には鎌倉時代の名残である「鎌倉道」が東西に走り、その昔人馬が通ったことを偲（しの）ばせる細道です。
答え④



石井緑地公園

【問題 22 解説】栗谷津公園（針ヶ谷）は、昭和 61 年（1986）3 月に開設されました。水源に倶利伽羅不動明王（くりからふどうみょうおう）の塔を嘉永（かえい）元年（1848）造立した先人の意をついで水源を保護するために作られた公園です。毎分約 380 リットル平成 18 年（2006）11 月調査、市内第一位の湧水量があります。
答え①

栗谷津公園

【問題 23 解説】市内で湧き水のある主な公園は、栗谷津公園（針ヶ谷）・石井緑地公園（水子）・谷津の森公園（鶴馬）・親水公園（関沢）・打越公園（東みずほ台）などです。
答え①

むさしの緑地公園（鶴瀬西）

【問題 24】平成 19 年（2007）に開設された、ふじみ野地区を代表する公園はどこか。

①びん沼自然公園
②勝瀬原記念公園
③山崎公園
④つるせ台公園

【問題 25】鶴瀬西 2 丁目に出来た多目的広場を備えた新しい公園はどこか。

①勝瀬原記念公園
②武蔵野緑地公園
③つるせ台公園
④文化の杜公園

【問題 24 解説】勝瀬原記念公園（ふじみ野東）は、平成 19 年（2007）7 月に開設されました。ふじみ野地区を代表する公園で、いつでも緑や花が楽しめる公園として、中央には芝生広場があり、コミュニティー形成・防災の拠点としてのオープンスペースを確保しています。周囲には散歩や軽いジョギングが出来る園路（１周 400m）が設置され、幼児から大人まで楽しめる遊具を配置しています。入口に建てられた富士山をイメージした竣工（しゅんこう）記念碑「絆」があります。
答え②

左の写真は勝瀬原記念公園の記念碑「絆」

【問題 25 解説】つるせ台公園（鶴瀬西）は、平成 23 年（2011）4 月 5 日に開園式が行われました（平成 23 年現在市内で一番新しい公園です）。地域の住民が身近で憩（いこ）い、さらにレクリエーションの場、災害時の避難（ひなん）一時集合場所、ヒートアイランド化防止等、多目的で貴重なオープンスペースとして、市民が安全で快適な都市生活を営めるよう整備されました。エントランス広場・多目的広場・ちびっこ広場・ターザンロープ・花壇等が設置されており、隣に小学校・保育所があり、子供たちでにぎわっています。
答え③

つるせ台公園

【問題 26】市制施行 40 周年を記念して「市の鳥」が決定したが、その鳥は何か。

①ハクセキレイ
②カワセミ
③チドリ
④イソシギ

【問題 27】谷津の森公園や水子貝塚公園の森で良く見かける、コゲラは主に何を食べているか。

①ミミズ
②魚
③虫
④木の実

【問題 28】市内全域で見ることができ、頭に黒い帽子をかぶったような、大きさ約 36ｃｍの鳥は何か。

①カイツブリ
②オナガ
③カルガモ
④キジ

【問題 26 解説】市制施行 40 周年を記念して「市の鳥」が決定しました。「カワセミ」は、ブッポウソウ目カワセミ科で、大きさは約１７cm 翡翠（ひすい）色と橙（だいだい）色の体色と長い「くちばし」が特徴（とくちょう）の、水辺の鳥です。「翡翠（ひすい)」や「水辺の宝石」とも呼ばれ、英語では「キングフィッシャー」です。良好な水辺の環境の指標とされ、未来に向かってキラリとかがやき続ける市をイメージし、自然愛護のシンボルとしてもふさわしく市内の砂川堀・新河岸川・びん沼川・柳瀬川・難波田城公園などで見られます。
答え②

市の鳥「カワセミ」

【問題 27 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「コゲラ」はキツツキ目キツツキ科で大きさは約 15ｃｍ、頭から背は黒茶色で白い斑点（はんてん）もようがたくさんあります。１年を通して市内（特に谷津の森公園や水子貝塚公園）で見ることが出来ます。木を突いて小さな虫を食べ、飛び立つ時に「ギィ…」と鳴きます。「ユニークな姿で親しみやすい鳥です」。
答え③

【問題 28 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「オナガ」はスズメ目カラス科で大きさは約 36ｃｍ、黒い帽子をかぶったような頭で、尾の長い鳥で、「ゲーィ」とか「ゲーィキュキュキュ」と鳴きます。本州中部から北部の山地や林や人家付近でも見られ、市内全域で見ることができます。「市内の森を守っていく身近な指標種となります」。
答え②

オナガ

【問題 29】スズメ目の鳥で市内全域に分布しており、花木の花蜜を餌とし、よくウグイスと間違われる鳥は何か。

①イソシギ
②コゲラ
③モズ
④メジロ

【問題 30】市内の新河岸川・びん沼川・富士見江川・柳瀬川などにスズメ目で水辺に棲息（せいそく）しており、お腹が黄色い小型の鳥は何と言うか。

①モズ
②カワセミ
③イソシギ
④キセキレイ

【問題 31】市内で見ることの出来る鳥の中で大きい部類のダイサギは、主に何を食べているか。

①穀物
②ねずみ
③魚
④木の実

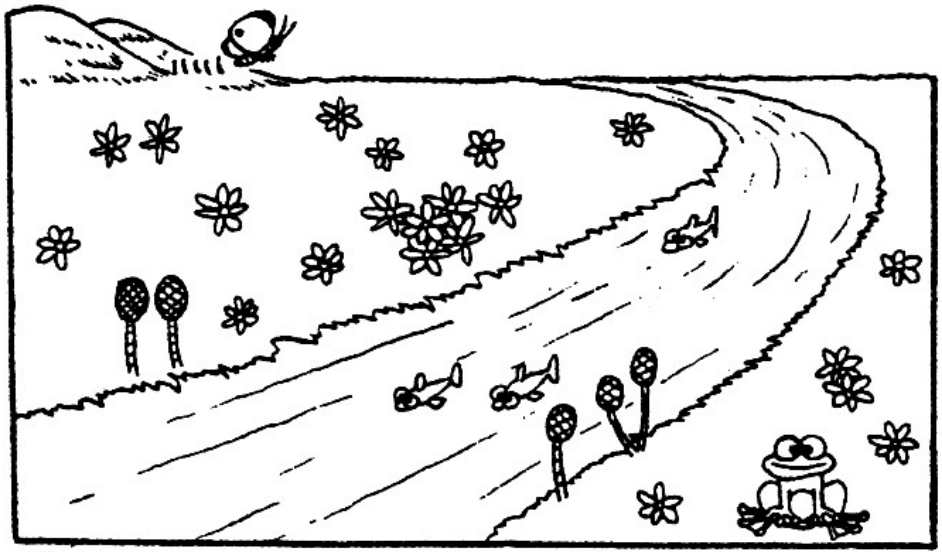
【問題 29 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「メジロ」はスズメ目メジロ科で大きさは約 12ｃｍ、ウグイス色で胸は白、目の周囲の白い輪が特徴であり、名前の由来です。よくウグイスと間違われます、寒冷地を除く全国の低地から山地まで広く分布しています。市内全域で見られ、花木の花蜜を巡って生活する昔から親しまれている鳥です。「花木あふれる美しいまちづくりをイメージします」。
答え④

【問題 30 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「キセキレイ」はスズメ目キセキレイ科で大きさは約 20ｃｍ、背は青灰色、腹が黄色で、主に渓流などの水辺に棲息（せいそく）します。尾を上下に振る習性があります。市内では新河岸川・びん沼川・富士見江川・柳瀬川などで良く見られます。「市民が川や水を大切にする心を養います」。
答え④

【問題 31 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「ダイサギ」はコウノトリ目サギ科で通称「シラサギ」大きさは約 100ｃｍ、クチバシと首や足が長く、白い羽です。水田・湿地・川・干潟などに住んでいて、魚・両生類・ザリガニ・昆虫などを捕食します。市内の多くの川や田んぼで見受けられます。「白く優雅に舞う姿はいきいきと未来へ羽ばたくイメージで、市民の意識の高揚を図ります」。
答え③

【問題 32】市内の河川で見ることのできるチドリ目で歩くとき尾を上下に振り、川虫や飛ぶ虫を食べているのは何という鳥か。

①イソシギ
②コゲラ
③キセキレイ
④カイツブリ



【問題 32 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「イソシギ」はチドリ目シギ科で大きさは約 20ｃｍ，頭から体の一部が灰色で白い腹、歩くとき尾を上下に振り、川虫や飛ぶ虫を食べます。川原や沼などでよく見かけ市内の新河岸川・びん沼川・富士見江川・柳瀬川でも確認されています。「たくさんの虫を育むきれいな河川環境が求められます」。

答え①

「（財）埼玉県生態系保護協会富士見支部提供」

【問題 33】市内の多くの河川や水谷地域の田んぼなどで見かけることが出来、大通りを子供を連れて皇居のお堀へ渡るすがたが話題になった鳥は何と言うか。

①カイツブリ
②アヒル
③シラサギ
④カルガモ

【問題 34】市内でも良く見かけ「デデーポッポ゜ー」と鳴いている茶色がかった羽で翼や背に茶色のうろこ模様のある鳥は。

①キジバト
②メジロ
③キセキレイ
④カルガモ

【問題 35】水谷地域の田んぼやびん沼自然公園で見られ、小型で捕えた獲物を木の枝に突き刺しておく習性を持つのは、何という鳥か。

①スズメ
②モズ
③キセキレイ
④イソシギ

【問題 33 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「カルガモ」はカモ目カモ科で、大きさは約 60ｃｍ全体に黒褐色で背の羽根は白くうろこ状に見えます。雑食で種子・水生植物・昆虫などをたべます。沼や河川などに棲息し、市内では多くの河川や水谷地域の田んぼで一年中見ることができます。「営巣・子育てをする姿は身近な自然を守っていく意識を醸成（じょうせい）します」。
答え④

【問題 34 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「キジバト」はハト目ハト科で、大きさは約 33ｃｍ茶色がかった羽で翼や背に茶色のうろこ模様で、首には縞模様があります。鳴き声は「デデーポッポー」とよく聞くことがあります。市内でよく見かける野生のハトです。「平和への願いと身近な自然を守っていく市民の意識を醸成（じょうせい）します」。
答え①

【問題 35 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「モズ」はスズメ目モズ科で、大きさは約 20ｃｍ羽は黄褐色でするどいくちばしで、昆虫を主食としており、時には小鳥もとります。捕えた獲物を木の枝に突き刺したり、木の枝股に挟む行為を行います。夏の終わりころから「キィーキィー」と甲高い声で縄張りを宣言します。市内では水谷地域の田んぼ・びん沼自然公園で見ることができます。「その生息空間は豊かな生態系を表します。たくましさと豊かな自然を象徴（しょうちょう）します」。
答え②

【問題 36】市内の川や沼で良く見られ、飛ぶことはあまり得意ではないが、泳ぎや潜水は得意という特徴を持った鳥は何か。

①カワセミ
②イソシギ
③オオタカ
④カイツブリ

【問題 37】市内全域で見られるハクセキレイは本来清流の鳥であり、開けた環境をこのみ、身近な鳥である。この鳥は何目に属しているか。

①スズメ目
②キジ目
③ハト目
④カモ目

【問題 38】埼玉県の鳥で、市内東大久保に生息している白っぽい色で頸（くび）の後ろの黒い線が特徴の鳥の名前は何か。

①雉（キジ）
②白子鳩（シラコバト）
③軽鴨（カルガモ）
④椋鳥（ムクドリ）

【問題 36 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「カイツブリ」は、カイツブリ目カイツブリ科で大きさは約 27ｃｍ茶色で夏は顔から首にかけて赤くなります。くちばしのつけ根に黄白色の模様があります。常に水上で生活し、翼が短く飛ぶことは得意ではありません。カモのような水かきはないが、それぞれの足の指にひれがあり、泳ぎや潜水はうまく、主に川や沼に棲息し潜って小魚をたべます。市内の主な川で見られます。「水辺環境を守るマスコット的存在です」。
答え④

【問題 37 解説】市制施行 40 周年記念の「市の鳥」候補に入った「ハクセキレイ」はスズメ目セキレイ科で大きさは約 21ｃｍ背と胸の所は黒いが、お腹は白く、長い尾が特徴です。世界に広く分布しており河川・農耕地・市街地の空き地など、開けた環境をこのみますが、本来は清流の鳥です。主に昆虫などを捕食、尾を振りながら地上を早いスピードでえさをさがします。市内全域で確認されています。「身近な鳥だけにきれいな水辺を守っていく指標となります」。
答え①

【問題 38 解説】市内東大久保近隣に生息している野鳥の白子鳩（シラコバト）は、国の天然記念物で埼玉県の鳥に指定されています。南ヨーロッパ・北アフリカから南アジアに分布、ハト目ハト科に分類される鳥類で、シラバト・ノバトなどとも呼ばれます。キジバトよりも少し小さくて細く、白っぽい色で、頸（くび）の後ろの黒い線が特徴、ポポーポゥ・ポポーポゥという声で鳴きます。全身白みがかった淡褐色で、頸の後ろに黒い輪模様があり、数珠かけ鳥とも言われています。
答え②

【問題 39】市内田園地帯でアブラムシなどを捕食して、益虫とされ、冬に木の皮の裏や建物の隙間などで冬を越す虫がいるが、それは何という虫か。

①カマキリ
②バッタ
③テントウムシ
④トンボ

【問題 40】秋には特にびん沼地域（東大久保）で多く見られるアキアカネは、夏と秋に群れをなして移動する。秋には平地にいるが、夏にはどこにいるか。

①山地
②海辺
③谷間
④河原

【問題 41】市内では新河岸川より東側の地域に多く見られるが、よく知られている塩辛蜻蛉（しおからとんぼ）は雄、では雌は何と呼ばれているか。

①サナエトンボ
②コフキトンボ
③ハグロトンボ
④ムギワラトンボ

【問題 39 解説】天道虫（てんとうむし）は、テントウムシ科の甲虫の総称、小型で赤や黒の斑点があります。益虫として、アブラムシ・カイガラムシなどを捕食するものが多いが、植物の葉を食うものもいます。冬は木の皮の裏や建物の隙間などで冬越しをします。市内では林のある公園や、田園地帯で見ることができます。
答え③

【問題 40 解説】秋茜（あきあかね）は、トンボ科の一種で、最も普通の赤トンボです。体長約４ｃｍで初夏に羽化した直後は橙色（だいだいいろ）、平地から山地へ移動し秋に群れをなして再び平地に降りて、池などで産卵し、老熟した雄は腹部を中心に赤く変わります。秋には市内全域で見ることができ、特にびん沼地域（東大久保）では沢山見ることができます。
答え①

秋茜（あきあかね）

【問題 41 解説】シオカラトンボは、雌が麦藁蜻蛉（むぎわらとんぼ）、雄は塩辛蜻蛉（しおからとんぼ）、と呼ばれています。平地の湿地やため池近くに多く生息しています。トンボ科の一種で雌は麦藁色で腹部の両側に黒斑点があります。雄は上面灰青色、腹端の数節は黒色です。市内では新河岸川より東側の地域に多く見られますが、市内全域でも見ることが出来ます。
答え④

シオカラトンボ

【問題 42】市内では最近見かけることが出来なくなっている蛍（ほたる）は色々な種類がいるが、ゲンジボタルの幼虫は何を食べているのか。

①カワニナ
②川エビ
③小魚
④糸ミミズ

【問題 43】市内の公園などの大小さまざまな林で、夏から秋にかけて夜明けや日暮れ時に、高く美しい声で「カナカナ」と鳴く蝉（せみ）がいるが、それは何という蝉か。

①油蝉
②ツクツクボウシ
③ミンミン蝉
④蜩（ひぐらし）

【問題 42 解説】蛍（ほたる）は、ホタル科の甲虫の総称で、体は軟弱で細長く、背面は扁平、腹端に発光器を持ち夜間青白い光を点滅します。幼虫は陸生または水生があり、陸生はカタツムリやミミズなどが餌で、日本ではほとんどが、ゲンジボタル・ヘイケボタルで水生であり、主にカワニナを餌としています。市内では最近見ることが出来なくなっていますが、見かけた方は是非知らせってほしいものです。復活することを願っています。
答え①

【問題 43 解説】蜩（ひぐらし）は、セミ科の一種で全長約５ｃｍ、全体は栗褐色で緑色・黒色の斑紋が多く、雄の腹部は大きく薄く半透明で共鳴器となっています。夏から秋にかけ夜明けや日暮れ時に高く美しい声で「カナカナ」と鳴きます。市内では公園などの大小さまざまな林で鳴き声が聞かれます。
答え④

蜩（ひぐらし）

【問題 44】市内では夕暮れとともに現れて飛んでいる蝙蝠（こうもり）は何を餌としているか。

①樹液
②果実
③蚊などの昆虫
④花の蜜

【問題 45】市内で畑の土を隆起させ小さな塚のようになっているが、何者の仕業か。

①鼠（ねずみ）
②もぐら
③野兎
④ひきがえる

【問題 46】市内の蛇島調節池やびん沼などで見かける、鼠（ねずみ）の中でも小さな萱鼠（かやねずみ）は草地にいるが、その巣の形はどれか。

①球形
②筒形
③ひょうたん型
④箱形

【問題 44 解説】蝙蝠（こうもり）は、コウモリ目の哺乳類で前肢の指が長く伸び、その間にある飛膜が翼（つばさ）に変形して、哺乳類で唯一の飛行動物です。昼間は暗所に潜み、日暮れに活動します。蚊や小虫を捕食し蚊喰鳥とも言われます。市内でも夕暮れとともに現れて飛んでいます。
答え③

【問題 45 解説】土竜（もぐら）は、哺乳類モグラ目モグラ科の総称で日本には４属８種がいます。代表的な種は東日本ではアズマモグラ、体長 10～16ｃｍ、毛色は黒褐色で手は外を向いて、手のひらは大きく頑丈で、目は退化しています。地中にトンネルを掘りミミズや昆虫の幼虫を食べます。市内の畑作地帯では畑の土を隆起させ小さな塚のようにして農作物に害を与えます。
答え②

アズマモグラ

【問題 46 解説】萱鼠（かやねずみ）は、鼠科の哺乳類で、頭胴長は約 5ｃｍ、尾長約 7ｃｍ、はつかねずみよりも小さく、鼠の中で最小の種類です。背は明るい褐色で腹は白色、ススキや萱の葉で小鳥の巣に似た球形の巣をくさむらの中に作り、草の種子などを食べています。市内では河川の土手や水辺のススキ、ヨシ、カヤなど茂る草原を注意して観察すると、見ることができます。市内の蛇島調節池やびん沼などで見かけることができます。
答え①

萱鼠（かやねずみ）

【問題１】富士見市の地質にかかわる文章には、必ずでてくる言葉として「ローム」あるいは「ローム層」があります。何をさしている言葉か。

①礫層
②砂層
③粘土層
④火山灰層

【問題２】市内で湧き水を活かした、稲作の発祥の地と考えられているのはどこか。

①丸池の沼地
②針ヶ谷の低湿地
③江川の流域
④権平川の流域

【問題３】市内の湧水池で見られる幼虫であるが、羽化すると名前はトンボでも、まったく違った形態になるのは何という虫か。

①オニヤンマ（オニヤンマ科）
②サナエトンボ（サナエトンボ科）
③ヘビトンボ（ヘビトンボ科）
④ハグロトンボ（カワトンボ科）

【問題 1 解説】関東地方全域に分布しているので関東ローム層と言い、それは火山灰のことです。由来は明治 14 年東京大学にきていたドイツの学者が、構内の土壌を見て氷河によるものと考えて「砂混じりの埴土」と言う農業用語を適用しました。その後の研究でマグマの結晶した鉱物が入っているので、火山灰であることが分かりましたが、ロームという言葉はそのままひきつがれました。
答え④

【問題 2 解説】紀元前 3 世紀、北九州に伝えられた稲作が、弥生時代の中期後半、針ヶ谷にも伝わり、南通遺跡（針ヶ谷小学校敷地）に居住した縄文人が低湿地に降りて、谷あいや沼田に種籾を直播きしていたと考えられ稲作発祥の地と言われています。遺跡近くには、水量豊かな湧き水もあって水涸れの心配のない土地でした。米は長さが短く、丸みを帯びた、現在の日本型と同種でした。昭和 46 年（1971）ころから始まった浦所バイパス工事により、低湿地は跡形もなく無くなりました。
答え②

【問題 3 解説】市内の湧水池で見られるヘビトンボの幼虫は、ムカデのようにも見えますが、清流の石の下に潜んで大きいあごを使って水生生物を捕食します。この幼虫を黒焼きにしたものは「孫太郎むし」といって幼児の「かんのむし」の妙薬でした。羽化すると羽は透明で脈が多くトンボに似ていますが、たたむと蛾（が）のように見えるので、変なトンボからヘビトンボになったとか、頭部はトンボに似ていても、首が異様にながいので、ヘビトンボになったという説もあります。
答え③

【問題４】市内水子の鎌倉古道沿いに「旅行く人馬の憩いの場」だったと伝えられている湧水池はどこか。

①神井戸周辺
②大応寺の池周辺
③お井戸周辺
④丸池周辺

【問題５】伝説によれば、市内水子の湧水池で仏像が発見された事にちなんで、村人は一寺を建立したと言われているお寺はどこか。

①来迎寺
②大応寺
③浄円寺
④瑠璃光寺

【問題 6】市内崖近くの田んぼで、湧き水が真下から盛り上がるように湧いていた田があったが、何田と言ったか。

①なべ田
②すりばち田
③かまっ田
④いずみ田

【問題４解説】水子の性蓮寺裏にある、湧水池「おいど」の前を鎌倉古道が通っています。「おいど」は源頼朝により鎌倉幕府が開かれ、鎌倉へ旅行く人馬の疲れをいやす場所として、利用されて来たと思われます。ここを「おいど」というのは、いど（池）が大きい大井戸だから、湧水量が多い多井戸だから、水神を祀っているので、崇めて御井戸だから、などの説があります。
答え③

左の写真は「おいど」

【問題５解説】市内水子の大応寺は、真言宗智山派の寺で、水光山不動院大応寺といい、不動明王が本尊です。開創も八百年は溯ると言われていますが、古い寺歴を伺わせる一つの伝説があります。夜になると池の水面が光りだすので、不思議に思っていると、旅の僧が原因は底にあるというのでさらってみると、一体の仏像を発見しました。村人は旅僧の言葉に従って、仏像を本尊に一寺を建立して、水光山大応寺としました。旅の僧は弘法大師だったといわれています。池の水は涸れましたが、池畔に祀られている琵琶を弾く弁才天は、田中善左エ門「於喜与」と女性の名を刻んだ珍しいものです。
答え②

左の写真は「大応寺」

【問題６解説】地下水が、真下から盛り上がるように湧き出しているようすが、釜の湯が煮えくり返っているのと似ていたので「釜（かま）」といい、かまのある田を「かまっ田」と言いました。その穴径が大きいのは 10ｃｍもあったと言い、地下水の豊富だった昔が偲ばれます。今でも富士見江川の上流や湧水池でも、砂がゆれる程度のごく小さいものが見られることがあります。
答え③

【問題７】市内水子で天保年間（1830～1843）出羽三山の修験者が、諸民の救助を祈願して、みそぎをおこなったと伝えられている場所はどこか。

①氷川神社下の雲居の滝
②関口不動下の湧水池
③別所の湧水池
④栗谷津の湧水池

【問題８】雨乞いで霊験あらたかなるをもって、近隣に広く知られた市内の神社は何処か。

①下南畑の氷川神社
②東大久保の阿蘇神社
③勝瀬の榛名神社
④諏訪の諏訪神社

【問題 9】富士見市の七沢は、権平沢・唐沢・上沢・羽沢・柿沢・関沢・節沢ですが、では柿沢はどの辺を言うのか。

①栗谷津公園の湧水地の下流域
②権平川の富士見郵便局付近の下流域
③性蓮寺の遊水地の下流域
④谷津の森の遊水地の下流域

【問題７解説】水子字別所の線路沿いにある阿弥陀堂墓地の西側斜面下に、赤い鳥居と「水神」「湯殿山」と彫られた二基の文字塔が立っています。このあたりが天保年間（1830~1843）に、出羽三山の修験者が諸民の救助祈願して、みそぎを行ったと伝えられる池の跡があります。今でもわずかの湧き水があり、かっては、うっそうと茂る木立の中に清水をたたえた池がありました。風化が進んでいた明治期の石塔は、湯殿山行辰霊神、天保年間諸民救助、高野辰次郎之行場、と刻まれていました。

左の写真は別所の赤い鳥居

答え③

【問題８解説】勝瀬の鎮守榛名神社は明治初年までは神仏混淆のため神社と言わず、日本藤島榛名満行大権現といって、群馬の榛名神社とは関係が無いと言われています。創建は不明ですが、祭神は土の祖神である埴山姫命と、伊勢の外宮に祀られている五穀豊穣の神、豊受姫命の二柱の女神で、ともに農業の神です。このような神社は近隣にも例がなく、広く稲作農家の信仰を得て、ひいては雨乞いの祈願所となったようです。霊験については「富士見の伝説、むかしばなし」に、雨乞いをすれば必ず降ったと記載されています。

答え③

【問題９解説】富士見市の地形の特徴である七沢は、権平沢・唐沢・上沢・羽沢・柿沢・関沢・節沢（南沢）です。湧き水の浸食による地形ですが、柿沢の場合は少し違うようです。権平川が富士見郵便局辺りでカギ型に曲がっていたので、この辺りを「カギの沢」といっていたのが、いつの頃からか「柿沢」になったといいます。

答え②

【問題 10 】諏訪の氷川神社境内にあり、水神として祀られているのは何か。

①風神
②雷神
③天神
④火神

【問題 11 】市内の湧水池で水生生物を食い荒らしているアメリカザリガニは、養殖していたある生き物の餌として輸入したものであるが、ある生き物とは何か。

①鯉
②なまず
③食用かえる
④すっぽん

【問題 12 】諏訪上鶴馬の氷川神社境内から階段を下ると、人工の「雲居の滝」があるが、滝に打たれたと伝えられているのは、次のうちどれか。

①安産を祈願のため洗礼した
②出征兵士の武運長久を祈願した
③寒稽古で中学生が心身の鍛錬をした
④子供の成長をねがって祈願した

【問題 10 解説】諏訪の氷川神社にある雷神社は、小太鼓を取り付けた輪を背にして、バチで太鼓を叩く鬼の姿ですが、水神のほとんどは、雷神社・雷電社・雷神宮などの文字塔です。市内の雷神も雷電神社と彫られた文字塔で、雷は雨を呼び稲妻は豊作をもたらすと崇拝されてきましたが、一方では落雷しないよう祈願したり、恐ろしいものに畏敬の念を表すことで、ほかの恐ろしい物から守ってほしいという便法でもありました。
答え②

【問題 11 解説】渡米した人たちは、日本人の体の小さいのは動物性蛋白質の不足と指摘して、短期間の実践法としてアメリカから食用カエルを輸入しました。ところがカエルは生きたものしか食べないので、飼育に苦慮しており、アメリカザリガニを輸入してえさとして、養殖は成功しましたが、カエルを食べる人はほとんどおらず、事業は失敗し放置されたりしました。逃げ出したアメリカザリガニは順応性に優れ日本中に広まりました。市内の湧水池でも繁殖し、水生動物を食い荒らします。
答え③

【問題 12 解説】諏訪上鶴馬の氷川神社下に「雲居の滝」があります。講中の代参人が出かける前は、六根清浄を唱えながら滝に打たれて、心身を清めて出発しました。出征兵士を死して護国の鬼となれ、と励まし送り出だしたてまえ一人だけ戦死しないよう武運を祈るのは、さしさわりがあるので、真夜中とか雪の夜など人目を避けて滝にうたれたようです。昼休みともなれば、涼を求めて役場の職員や学校の先生が大挙しておしかけ、順番待ちで大変だったようです。
答え②

【問題 13 】市内の湧水池やその溝にいる、プラナリア（ウズムシ）は、体長 5~10ｍｍくらいで浅黒く体はナメクジを平らにしたようで軟らかい。その特徴のうち違うのは何か。

①口は体の真ん中へんにある。
②目で餌を探す。
③二つに切ると二匹なる。
④排泄も口から行う。

【問題 14 】市内の湧水池やその流れで、埼玉県の絶滅危惧種に指定されている水生植物（藻）が発見されており、きれいな水の証しでもあるこの植物は何か。

①クロモ
②カワモズク
③ヒルムシロ
④エビモ

【問題 15 】針ヶ谷の共同墓地内にある、虚空蔵菩薩は水神として崇拝してきたが、虚空蔵菩薩の神の使いとして崇められているものは何か。

①ナマズ
②ウナギ
③イシガメ
④アオダイショウ

【問題 13 解説】市内の湧水池やその溝にいるプラナリア（ウズムシ）は体調 5~10ｍｍ程度で灰色ナメクジを平らにしたようで軟らかい、頭部上面に二つの黒い点が明暗を識別する働きをします。普段は清流の石にへばりついて体の中ほどにある口を開けて獲物を食べ排泄も口からします。石の上を滑るように移動し、成長すると体がくびれて二匹になります。人工的に二つに切れば二匹になり、縦長に切れば細長い二匹になるなど、優れた再生能力は医学の分野でも研究の対象になっています。
答え②

【問題 14 解説】市内の湧水池やその流れで生育する、カワモズクは淡水の藻です。11 月から 4 月ころの寒い季節に多く、湧き水から流れ出す清流の砂地底や石などに生育します。藻体は茶褐色、アオモズクは美しい濃緑色で、両種が発見されました。直径３ｍｍ長さ 5ｃｍほどのビロードの紐状のものが 7~8 本が固まって揺れていました。顕微鏡で見ると細かい枝が網状に一つの輪をつくり、それが茎に等間隔に連なって一本の藻体となり、表面は厚い粘液質で保護されています。
答え②

【問題 15 解説】針ヶ谷の共同墓地内にある虚空蔵菩薩は、天の神格化です、広大な知恵と慈悲と福徳をもって、衆生の救済に専念します。菩薩が水神として崇拝されるのは、天からの慈悲と福徳は、農民にとっては雨だからです。一方ウナギが虚空蔵菩薩の神の使いとも化身とも言われるのは、大雨の後ウナギが田を抜け出して、別の田へ移動する習性から、ウナギが大雨を降らせるとみなされて、雨の神である虚空蔵菩薩と結びつけられて、針ヶ谷では崇められるようになりました。
答え②

【問題 16 】関沢の富士見江川沿いにある公園（多目的広場）で水量のある湧き水を導入して、水と遊べる公園は何か。

①遊水公園
②水親公園
③湧水公園
④親水公園

【問題 17 】江戸から昭和の時代にかけて市内にも湧き水を活かした水車があったが、何か所か。

①4 か所
②6 か所
③8 か所
④10 か所

【問題 18 】市内には約 30 ヶ所の湧き水があり、夏は冷たく冬は暖かく感じるが、冬期の湧き水の水温は何度くらいか。

①約 5 度
②約 10 度
③約 15 度
④約 20 度

【問題 16 解説】関沢の富士見江川沿いに造られた親水公園（多目的広場）は、小川の流れと高く積み上げた背面の石垣と、東屋と樹木に囲まれた台地上の憩いの場として、景観を楽しむことが出来ます。公園の一画からは水量豊かな湧き水を園内に導入して、水とも遊べる公園になっています。公園の名称は公募により名付けられました。
答え④

【問題 17 解説】市内の水車は明和～安永（1764～1780）頃の創業を最古に､関沢の富士見江川から水をひいて 3 か所､権平川から 2 か所、砂川掘から 3 か所と計 8 か所ありました。湧き水という安定した水源の他、稲作地帯と畑作地帯をひかえた地の利を得た産業だったからです。昭和初期から動力による精米や製粉が普及しましたが、昭和 20 年（1945）4 月の米軍による爆弾で破壊され、最後の水車も廃業を余儀なくされました。
答え③

【問題 18 解説】市内には約 30 ケ所の湧き水があり、水は長い時間をかけて地中を移動しています。その間に地熱の影響を受けるので、季節に関係なく水温は 15 度くらいに安定しています。しかし大雨が続いて、湧水量がふえるような時は、外気の影響をうけるようです。
答え③

【問題 19】湧き水を使い市内数ヶ所で鯉の養殖がおこなわれていたが、湧き水を使う理由は何か。

①冬にゆっくり休眠させられた。
②夏も水温が約 15 度で安定しており良かった。
③栄養豊富で餌代がかからなかった。
④冬も水温が約 15 度で安定しており良かった。

【問題 20】平成 18 年（2006）の調査によると、市内にある湧水池で、最も湧水量の多いのが針ヶ谷の栗谷津公園であるが、１分間の最多湧水量は。

①約 280 リットル
②約 380 リットル
③約 480 リットル
④約 580 リットル

【問題 21】市内の湧き水１リットルにミネラルはどのくらい含まれているか。

①0~50mg 以下
②50~100mg 以下
③100~150mg 以下
④150mg 以上

【問題 19 解説】市内では鯉の養殖に湧き水を使うと、絶えず新鮮な水を注入することが出来るので、狭い所で大量に飼育しても酸素不足もなく、アオコの発生もありません。特に冬場は約 15 度という水温を維持できるので、氷の下で休眠状態に入ることなく餌を食べるので、発育が良かったと言います。しかし夏場も水温が約 15 度なので、温かい方が餌を良く食べるため、少しでも温度を上げようと注水量を加減したり、温めておいた水を加えて発育を助けたようです。
答え④

【問題 20 解説】針ヶ谷の栗谷津公園の湧水量は市内最多です。平成 18 年 11 月（2006）調査で年間の最多では分当り約 380 リットルを記録しました。これは一般家庭用のバケツ 54 杯にあたります。湧水量の増減は降水量によりますが、雨の後何日くらいで影響があるかは、それまでの雨量によります。一方渇水の年には、湧水量の少ない所ほど影響を受けて、4 分の 1 程度まで減少しますが、これまでに涸れたことはありません。
答え②

【問題 21 解説】ミネラルウォーターは、カルシウムとマグネシウムを含んでいることを強調した水の事です。1 リットル中に 80mg 含まれていれば、硬度 80 といいます。国内の水は硬度 100 以下のようですが、輸入品になると、硬度 500 とか 1500 というものもあります。市内の湧き水は硬度 50~100 がほとんどです。硬度を用途で分類すると、100 以下は軟水・100~200 を中水・それ以上を硬水といいます。
答え②

【問題 22】市内の湧き水に、必ずいるのがアメンボウであるが、アメンボウの生態で違っているのはどれか。

①産卵は、水に潜って水草の茎などにする。
②卵からかえると、直ちに捕食活動をする。
③冬は陸に上がり、落ち葉の下で越冬する。
④長い足は邪魔なので、折りたたんで飛ぶ。

【問題 23】水の汚れ具合を判定するのに役立つ生物を「指標生物」と言うが、市内の田や用水に住む少し汚れた水の指標生物はなにか。

①カゲロウ
②ムカシトンボ
③サワガニ
④カワニナ

【問題 24】市内針ヶ谷の栗谷津公園の水源に立つ大きな石塔は、直刀に竜が巻き付いた姿が浮き彫りにされており、近隣にも例をみないこの塔は、何と呼ばれているか。

①栗谷津の権現さん
②栗谷津の不動さん
③栗谷津の明王さん
④栗谷津の竜神さん

【問題 22 解説】市内の湧き水には「アメンボウ」が多く生息しています。産卵は、雌は雄を乗せたまま水中に潜り、水草の茎に黄白色の細長い卵を 20 個ほど列状に産みつけます。卵は 10 日ほどでふ化し、幼虫はすぐ水面に出て成虫に混じって落ちてきた昆虫の体液を吸う捕食活動をします。5 回脱皮して成虫になり、冬は陸に上がって落ち葉の下で越冬します。冬越しした成虫が初夏に産卵したものは羽が短く、初夏に産卵して夏に生育したものだけは羽が長く、飛んで移動します。その時は、足はだらりと垂らしたままです。
答え④

【問題 23 解説】市内の田や用水に住む「カワニナ」は殻長 3cm 程度の巻貝です。殻は黄褐色か黒褐色で、餌は藻や落ち葉などの有機物です。水が少し汚れている所に住み、汚れ判定の「指標生物」です。夏に数百個の卵を産みます。ゲンジボタルの幼虫が好んで捕食することで知られています。きれいな水の指標生物にはカゲロウ・ムカシトンボ・サワガニなどが入ります。
答え④

【問題 24 解説】市内針ヶ谷の栗谷津公園に、水量豊かな湧き水があります。水源に立っている石造を「栗谷津の不動さん」と呼ばれており、言い伝えによれば「昔仏教の代表者、不動明王が、95 種の外道（異教徒）と論争した時、不動明王が智火剣に姿を変えたとたん、相手も智火剣に変身したので、不動明王は恐ろしい倶利伽羅竜王（くりからりゅおう）に化けて、相手の剣を手足で抑えて、飲み込もうとして相手を屈服せしめた」このような伝承を具現化したのが、この倶利伽羅不動明王塔です。嘉永元年（1856）地元の有力者と修験者によって造立されました。竜が雨を降らすという信仰もあって、祈れば雨乞い、治病、除災もかなえてくれるといいます。
答え②

左の写真は　栗谷津の不動さん

【問題 25】市内の湧水池のかたわらには今も水神が祀られている。しめ縄やお供え物もあり、先人の思いが引き継がれているが、一番多く祀られている水神は何か。

①吉祥天
②水天
③弁才天（弁財天）
④水神宮

【問題 26】昭和 41 年（1966）に制定された富士見市の市章は、旧 3 ヶ村の合併を意味しているが、旧 3 ヶ村とは、南畑村、水谷村と、残りの村はどこか。

①勝瀬村
②大久保村
③鶴瀬村
④針ヶ谷村

【問題 27】富士見市に接する市町村は 5 つあるが、ふじみ野市・川越市・志木市・三芳町と、あともう一つはどこか。

①さいたま市
②朝霞市
③所沢市
④狭山市

【問題 25 解説】弁才天はインドのヒンズウ教の神で、もとは河川の神格化といわれ、農業や食物の豊穣（ほうじょう）の神でした。仏教に採り入れられると、せせらぎの音から心をいやす音楽・学問・芸術・雄弁の神となって、妙音天・美音天などと呼ばれました。奈良時代に仏教と共に中国から伝えられ、鎮護国家・芸術・農業の神として広まりましたが、室町時代ころからは、豊穣は富をもたらすことから、弁財天と書いて七福神の一員に加えられ、江戸時代の流行神となりました。市内には水神 33 基がのこされていますが、湧水池のかたわらに一番多く９基の弁才天（弁財天）が祀られています。
答え③

【問題 26 解説】富士見市の市章は、昭和 41 年（1966）5 月 1 日制定（当時は町章）されました。3 本の同心円上の線が描かれており、中央に富士の見える市ということで富士をおき、周囲に 3 本の川（荒川・新河岸川・柳瀬川）と旧 3 ヵ村（鶴瀬村・南畑村・水谷村）の合併を意味した円を配し、富士見を象徴（しょうちょう）したものです。
答え③

【問題 27～28 解説】富士見市の地理的位置は、埼玉県の東南部、首都 30ｋｍ圏に位置し、東は荒川・びん沼川を隔てた、さいたま市、北は川越市・ふじみ野市に、西は三芳町、そして南に志木市にそれぞれ接しています。海抜は約 4m～25m・東西約 7ｋｍ・南北約 6.8ｋｍ・面積約 19.7 平方ｋｍです。
答え①

【問題 28】富士見市の総面積は約何平方ｋｍか。

①約　9.7 平方ｋｍ
②約 19.7 平方ｋｍ
③約 29.7 平方ｋｍ
④約 39.7 平方ｋｍ

【問題 29】日本橋から川越に至る道で、富士見市を通っている道の名はなにか。

①旧鎌倉街道
②旧川越街道
③東北道
④浦和所沢街道

【問題 30】富士見市を中心に東西に横切っている国道 463 号があるが、一般に呼ばれている名前はなにか。

①浦和所沢バイパス
②三芳富士見街道
③１７号バイパス
④朝霞富士見線

答え②

【問題 29 解説】川越街道は、江戸日本橋より中山道を進み、板橋宿の平尾追分で分岐して川越城下に至る街道で伊能忠敬「大日本沿海輿地全図」では実測、10 里 34 町 33 間半（約 43ｋｍ）でした。この旧道とほぼ並行して、または旧道を拡幅して、建設され、現代では東京都豊島区「池袋六ッ又交差点」から埼玉県川越市「新宿町北交差点」に至る間を言います。富士見市を通過している距離はわずか 160ｍです。
答え②

【問題 30 解説】富士見市の周辺都市を結ぶ主要な道路として、南北方面に関越自動車道、川越街道（国道 254 号）と、富士見川越道バイパス（国道 254 号バイパス）があります。他に、東西方向に国道 463 号が通り、浦和所沢バイパスと呼ばれています。
答え①

【問題 31】富士見市の魅力として、ふさわしくないのはどれか。

①比較的に都心に近く、交通アクセスが便利である。
②恵まれた自然環境があり、富士山を眺望できる。
③近代工業都市として発展している。
④古代から育まれた文化がある。

【問題 31 解説】富士見市の魅力は

１．比較的に都心に近く、交通アクセスが便利です。東武東上線に加え、地下鉄有楽町線や、副都心線が相互乗り入れとなり、一層都心へのアクセスが向上してきています。

２．恵まれた自然環境があり、荒川・新河岸川・柳瀬川など、自然に恵まれた川や沼、そして湧き水などがあります。

３．古代から育まれた文化があり、国指定史跡の水子貝塚公園や県指定旧跡の難波田城公園が身近にあります。

答え③

富士見市の概略図

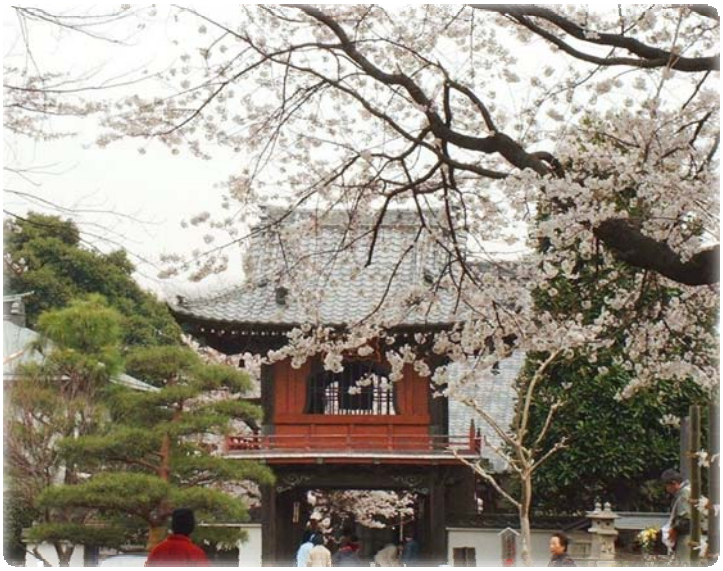
ふじみ野駅
ふじみ野市
上野台
駒西小
さぎの森小
勝瀬中
上南畑
山室
富士見高
上幸宮ゴルフガーデン
荒川総合運動公園
登戸馬場公園
宿
荒川運動公園
富士見市役所
254
羽沢
富士見台中
東原小
島崎
上宗岡
貝塚
鶴瀬駅
浦和・所沢バイパス
みずほ台小
水谷小
宗岡中
みずほ台駅
254
西中
性蓮寺
志木市役所
三芳東中
みずほ台病院
254

富士見市の概略図

ふじみ野駅
ふじみ野市
上野台
さぎの森小
駒西小
勝瀬中
上南畑
上幸宮ゴルフガーデン
荒川総合運動公園
登戸馬場公園
富士見高
山室
富士見市役所
254
荒川運動公園
東原小
羽沢
富士見台中
島崎
上宗岡
貝塚
鶴瀬駅
浦和・所沢バイパス
みずほ台小
水谷小
宗岡中
みずほ台駅
254
西中
性蓮寺
志木市役所
254
三芳東中
みずほ台病院
芳中

第２章
富士見の歴史

(1)原始・古代
(2)中世
(3)近世
(4)近現代
(5)伝説・石造物
(6)神社・寺院
(7)水子貝塚公園
(8)難波田城公園



大應寺

【問題 1】富士見市で最も古い遺跡は旧石器時代の鶴馬１丁目の谷津遺跡(やついせき)であるが、約何年前の遺跡か。

①約 40,000 年前
②約 35,000 年前
③約 30,000 年前
④約 25,000 年前

【問題 2】今から約 9,000 年前から 5,500 年前に、地球の温暖化により氷河や氷山が溶けたことにより海水面が上昇し、富士見市を含め内陸部まで海が入り込んでいた。この現象を何というか。

①原始海進
②縄文海進
③古代海進
④弥生海進

【問題 3】現在のみずほ台小学校周辺は、約 7,600 年前の縄文時代早期に関東でも屈指の大規模なムラが作られたが、その遺跡の名称は何というか。

①打越（おっこし）遺跡
②山崎（やまざき）遺跡
③氷川前（ひかわまえ）遺跡
④松ノ木（まつのき）遺跡

【問題 1 解説】富士見市内には約 20 箇所の旧石器時代の遺跡があります。旧石器時代の遺跡は「関東ローム層」と呼ばれる火山灰の堆積した黄褐色（おうかっしょく）の土中から発見されます。その最も古い地層から石器が出土しているのが谷津遺跡です。地層の年代から約 35,000 年前のものと考えられ、関東地方では最古期にあたります。同時期の遺跡は、県内では三芳町藤久保東遺跡や寄居町末野遺跡などがあります。
答え②

【問題 2 解説】約 9,000 年前から温暖化がはじまり、現在よりも平均気温が１～２度高くなりました。その結果、北極や南極の氷が溶け、しだいに海水面が上昇し、ピーク時の 6,500～6,000 年前には５ｍほど現在よりも高くなりました。この現象を縄文海進といいます。そのため、現在よりも深い谷だった荒川の流れに沿って海水が富士見市を含め内陸部まで入り込み「古入間湾」を形成しました。
答え②

【問題 3 解説】縄文海進によって形成された海はヤマトシジミやマガキなどの貝や魚などの豊かな海産物をもたらしました。狩猟採集により食料を調達していた縄文人にとって、台地上に森林、低地に海が広がる富士見市の土地は絶好の場所であり、居住地に選ばれたのは当然ともいえ、市内には約 10 箇所もの貝塚を伴うムラが確認されています。打越（おっこし）遺跡（みずほ台小学校周辺）は約 7,600 年前の縄文時代早期の住居跡が約 60 軒確認されています。続く前期にも住居跡が約 100 軒確認されており、水子貝塚と並ぶ縄文時代前期の代表的な遺跡でもあります。年代的には水子貝塚よりも古く、打越遺跡から水子貝塚へのムラの移動があったと考えられています。
答え①

【問題 4】羽沢 1 丁目の羽沢遺跡から出土した縄文時代中期の土器があり、埼玉県指定有形文化財となっている。この中で動物の装飾がついている土器の愛称は何か。

①シカ土器
②ムササビ土器
③ヘビ土器
④カエル土器

【問題 5】針ヶ谷小学校周辺は、県内でも大規模の弥生時代のムラがあったといわれるが、その遺跡の名称は何というか。

①別所遺跡
②栗谷ッ遺跡
③北通遺跡
④南通遺跡

【問題 6】北通遺跡（針ヶ谷）からは、弥生時代の「方形周講墓」が発見されている。この墓の主体部から出土した市指定有形文化財となっている副葬品とは何か。

①銅鐸（どうたく）
②銅剣（どうけん）
③鉄剣（てっけん）
④銅矛（どうほこ）

【問題 4 解説】羽沢 1 丁目の羽沢遺跡からは、縄文時代中期の住居跡が 100 軒以上確認されています。昭和 59 年（1984）に発掘された住居跡からは 10 個体の土器がまとまって出土し、縄文時代中期の土器のセットがわかる好例として平成 10 年（1998）に埼玉県指定有形文化財となりました。その中の一つは、獣の顔と尻尾のような立体的な装飾が付いており、ムササビが飛翔している姿を想起させることから「ムササビ土器」の愛称が発見当初に付けられました。ただし、近年の研究により「猪」（いのしし）と「人面」が向かい合う造形であることが判明しています。
答え②

【問題 5 解説】弥生時代の遺跡は、柳瀬川流域の台地上に集中する傾向があり、富士見市水子から三芳町竹間沢にかけて連なるように分布しています。その中で、昭和 46 年（1971）に発見された南通遺跡（針ヶ谷）は 270 軒以上の弥生時代住居跡が存在し、さらに「環濠」（かんごう）と呼ばれる溝が集落周囲を巡ることが判明し、県内でも大規模のムラでした。今まで柳瀬川流域の中心的ムラと考えられてきましたが、柳瀬川対岸の志木市西原大塚遺跡のほうが大規模であることがわかりました。
答え④

【問題 6 解説】北通遺跡（針ヶ谷）からは弥生時代の 8 基の方形周溝墓（ほうけいしゅうこうぼ）が発掘されています。そのうちの一つは区画溝一辺が 12mの大型のものでした。南北 2.8m、東西 1.3mの長方形の主体部から長さ 61 ㎝（県内では最大級）の鉄剣と 31 個のガラス玉が出土しました。鉄剣は東側から、ガラス玉は北側から多く出土しています。このことから、被葬者は北に頭を向け埋葬され、首にはガラス玉のネックレスをかけ、左脇腹に剣が添えられていたと考えられています。
答え③

【問題 7】明治 43 年（1910）に発見され、鉄刀が出土した渡戸１丁目の古墳は何というか。

①縄文の丘古墳
②貝塚山古墳
③オトウカ山古墳
④権現山古墳

【問題７解説】明治 43 年（1910）、鶴瀬村大字鶴馬字渡戸（当時）の貝塚山と呼ばれる場所から開墾中に人骨、鉄刀が発見されました。人骨は氷川神社に、鉄刀は東京帝室博物館（現東京国立博物館）に納められました。その来歴は、第３保育所（山室）脇の「貝塚稲荷旧跡碑（通称コロボックルの碑）」に記されています。それによると、貝塚山古墳は直径約 18m、円周約 56m、高さ約 2.4mの円墳だったと推定されます。富士見市の文化財保護の原点といわれています。

答え②

貝塚稲荷旧跡碑

有形文化財

コロボックルの碑

昭和五十年十一月一日指定

コロボックルの碑（貝塚稲荷旧跡碑）は大正元年に建立されたものですが、碑文に記された建立の事情こそ富士見市の文化財保護の原点を示すものです。

建立の五年前、東京帝国大学の学士十数名がこの地を訪れました。彼等は貝塚山から採集された土器や石器を見て「いにしえのコロボックルが残したものである」と説明しました。「コロボックル」とはアイヌの伝説に出てくる先住民であり、当時は、縄文土器や石器はコロボックルが残したものという説がとなえられていました。その三年後に稲荷神社の跡地を開墾したところ、古墳時代の人骨と鉄刀が発見されました。発見者は人骨を神社に改葬し鉄刀を帝室博物館に寄贈しました。以上の顛末を記念して建てたのがこの石碑です。

富士見市教育委員会

【問題 1】難波田城主とされる難波田氏の祖先は誰か。

①仙波氏
②金子氏
③大井氏
④山口氏

【問題 2】難波田氏の祖先は、平安時代末期に成立した武士団「武蔵七党」（むさししちとう）の一つに所属していたが、その党とは何か。

①横山党（よこやまとう）
②猪俣党（いのまたとう）
③村山党（むらやまとう）
④児玉党（こだまとう）

【問題 3】南北朝時代に足利氏の内乱が起こり、尊氏（たかうじ）側の高麗経澄（こまつねずみ）軍と弟直義（ただよし）方の難波田九郎三郎の軍勢との戦いは何か。

①小手指河原（こてさしがわら）の戦い
②羽祢蔵（はねくら）合戦
③湊川（みなとがわ）の戦い
④桶狭間（おけはざま）の戦い

【問題 1～2 解説】難波田氏は、金子高範（たかのり）を祖先とする一族といわれ、平安時代末期に成立した武士団「武蔵七党」（むさししちとう）の一つ村山党（むらやまとう）に所属する一族で、保元・平治の乱などで活躍しています。高範は鎌倉時代初めの承久 3 年（1221）、幕府が朝廷と戦った承久（じょうきゅう）の乱に幕府側として参戦して、討ち死にしました。その恩賞として「難波田」（現、南畑）の地がその子孫に与えられ、系図では高範の子孫小太郎から「難波田」を名乗ったとされています。そしてその子孫がこの地に居住するようになりました。
答え②

答え③

【問題 3 解説】観応（かんのう）元年（1350）、室町幕府の将軍足利尊氏（あしかがたかうじ）と弟直義（ただよし）の勢力争い、観応の擾乱（じょうらん）が起こりました。尊氏は翌年 11 月に関東に向けて出兵し、12 月に直義軍を駿河国（現静岡県）薩埵山（さつたやま）の合戦でうち破り勝利しました。同年 12 月 19 日、尊氏に合流するため府中（東京都府中市）に向かう高麗経澄（こまつねずみ）の軍勢と、それを迎え撃つ直義方の難波田九郎三郎の軍勢が羽根倉橋（はねくらばし）付近（志木市宗岡）で戦い、九郎三郎は敗れて討ち取られました。この合戦を「羽祢蔵（羽根倉）」合戦といいます。
答え②

【問題 4】天文 15 年(1546)、扇谷上杉氏（おうぎがやつうえすぎし）の重臣として、難波田氏が、北条氏康（ほうじょううじやす）の奇襲によって敗れた。その戦いとは何か。

①河越夜戦
②松山城の戦い
③深大寺合戦
④一之谷の戦い

【問題 5】室町時代に富士見市内で市場の開設が行われた記録が残っているが、その地域はどこか。

①南畑郷
②水子郷
③鶴馬郷
④勝瀬郷

【問題 6】鎌倉幕府が開かれて以後、鎌倉への往来が盛んな主要道路の枝道となった市内の古道は何と呼ばれているか。

①鎌倉道
②室町道
③江戸道
④河岸道

【問題 4 解説】難波田弾正善銀（なんばただんじょうぜんぎん）は扇谷上杉氏（おうぎがやつうえすぎし）の重臣として、有力支城の一つである松山城（比企郡吉見町）の城代（城主）をつとめています。天文 14 年(1545)、扇谷上杉朝定（ともさだ）は関東管領上杉憲政（かんとうかんれいうえすぎのりまさ)、古河公方足利晴氏（こがくぼうあしかがはるうじ）と結んで、後北条氏の籠もる河越城を約 8 万の大軍で包囲しました。しかし、翌年(1546)4 月 20 日夜の後北条氏の奇襲によって敗れ、朝定は討ち死にし、善銀も川越市内の東明寺（とうみょうじ）の古井戸に落ちて命を落としたといわれています。この合戦を河越夜戦といいます。これは、桶狭間（おけはざま）の戦・厳島（いつくしま）の戦とあわせて三大奇襲戦といわれています。北条軍の勝利により、難波田城は後北条氏の支城となり、上田周防守（うえだすおうのかみ）が入城しました。
答え①

【問題 5 解説】『武州文書』のなかに応永 22 年（1415）頃に書かれた「市祭記録」という資料があります。その中に「武州（武蔵国）入間郡水子郷で市立（いちたて）の時、羽倉彦次郎が市祭を行う」と書かれています。市立とは市場を開設することで、室町時代の延文 6 年（1361）に開かれたとされています。
答え②

【問題 6 解説】鎌倉街道は、建久 3 年(1192)源頼朝によって鎌倉に幕府が開かれると、それまで東国各地から国府のあった府中へ通じていた道が鎌倉まで延長され、地方に住む御家人と幕府を結ぶ路線となり、同時に人馬の往来が盛んな主要道路となりました。鎌倉街道中道（なかつみち）と上道（かみつみち）を結ぶ市内の枝道（太田、行田、与野、田無、府中などを経由）は鎌倉道と呼ばれます。市内では志木宗岡辺りで南畑に入り、木染、山下を通り、水子の大井戸、性蓮寺脇から番神山、針ヶ谷、竹間沢、所沢を経て府中に向かい、別名羽根倉道とも呼ばれています。
答え①

【問題 7】板碑（板石塔婆）は亡くなった人や先祖を供養するためや生前に自分の死後の冥福を祈るために造られた供養塔であるが、市内最古とされる板碑はどこにあるか。

①長谷寺（東大久保）
②大応寺（水子）
③慈光寺（南畑新田）
④護国寺（勝瀬）

【問題 8】勝瀬護国寺境内に立つ、建長 4 年(1252)11 月年号をもつ市指定文化財の石造物を何というか。

①五輪塔（ごりんとう）
②宝篋印塔（ほうきょういんとう）
③板碑（いたび）
④馬頭観音（ばとうかんのん）

【問題 9】同じ信仰で結びついた集団（結衆）によって造られた板碑の中で、日本最古と言われている市内の板碑はどれか。

①日待板碑（ひまちいたび）
②月待板碑（つきまちいたび）
③庚申板碑（こうしんいたび）
④夜念仏板碑（よねんぶついたび）

【問題 7～8 解説】板碑（板石塔婆）は亡くなった人や先祖を供養するためや生前に自分の死後の冥福を祈るための供養塔で、鎌倉時代から戦国時代に至る約 400 年間に造られました。石材となる緑泥片岩（りょくでいへんがん）の産地が荒川上流にあることから、県内に多く流通し、富士見市にも約 600 基が確認されています。市内で最古のものは、慈光寺跡（南畑新田）の建長 4 年（1252）6 月 1 日銘の大型板碑で、続いて護国寺（勝瀬）の同年 11 月 8 日銘です。いずれも市指定文化財になっています。
答え③

答え③

慈光寺の大型板碑

【問題 9 解説】富士見市には日本最古とされる嘉吉元年（1441）の月待板碑（市指定有形文化財）があり、難波田城資料館に展示されています。月待板碑は、決まった月齢の夜に集まり月が出るのを待つ信仰の際に建てられます。このように同じ信仰の人々が集まって建てる板碑を結衆板碑（けっしゅういたび）と言います。その他に代表的な民間信仰の行事として庚申待（こうしんまち）や夜念仏（よねんぶつ）等の信仰もありました。
答え②

【問題 1】多門氏（おかどし）が鶴馬に知行をもらい、菩提寺としたお寺の名前は。

①蓮馨寺
②来迎寺
③浄円寺
④瑠璃光寺

【問題 2】諏訪 2 丁目、富士見文化通りに面したところに「多門氏館跡」があるが、多門の読みはどれか。

①おおもん
②たもん
③たかど
④おかど

【問題 3】江戸時代に入り、芝山（東京都清瀬市）から難波田城跡に移転し、「江戸名所図絵」にも紹介された修験道（しゅげんどう）の寺院は。

①地蔵院（じぞういん）
②十玉院（じゅうぎょくいん）
③般若院（はんにゃいん）
④金蔵院（こんぞういん）

【問題 1～2 解説】諏訪 2 丁目、富士見文化通りに面した字名「宿」の一角に「多門氏（おかどし）館跡」がありました。多門氏は徳川家康の関東入府に伴い、天正 19 年（1591）に領地をたまわり、多門平次郎（又は平左衛門）成正が鶴馬村（上鶴馬）に館を構えたところといわれています。今まで試掘・発掘調査が行われ、この館跡は室町・戦国時代にも使用されていた場所と考えられています。菩提寺は大眼山照光院浄円寺で、天正 19 年に徳川家康の家臣、多門平次郎成正が鶴馬村を領地とした際に浄土宗に帰依して、浄円寺（諏訪 2 丁目）を建てました。また、富士見台中学校の敷地は、多門氏と同時期に下鶴馬の地を知行した宮崎備前守の館跡と伝えられています。
答え③

答え④

【問題 3 解説】室町時代に水子にあった十玉坊は廃絶後、東京都清瀬市の芝山に再建されました。その後、江戸時代に入ると難波田城跡に修験道（しゅげんどう）の寺院である十玉院（じゅうぎょくいん）が移されました。院主は南畑地域を治めていた上田氏の関係者が代々務め、江戸時代には観光冊子であった「江戸名所図絵」に紹介され、武蔵国（東京都と埼玉県、神奈川県の一部）で有名な寺院となりました。
明治 5 年（1872）の修験道廃止例により、十玉院は廃寺となりました。
答え②

【問題 4】江戸時代には将軍や徳川一門が鷹狩りを行うため、江戸近郊の地に鷹場を設けた。市内にも鷹場が設けられたが、何藩の鷹場だったか。

①川越藩
②紀伊藩
③尾張藩
④水戸藩

【問題 5】市内で鷹場の陣屋が設けられた場所は。

①南畑
②鶴馬
③勝瀬
④水子

【問題 6】新河岸川舟運の河岸場が市内に何ヶ所あったか。

① ４ヶ所
② ５ヶ所
③ ６ヶ所
④ ７ヶ所

【問題 4～5 解説】江戸時代、幕府は将軍や徳川一門の鷹場として、江戸を中心とした近郊の地に、鷹場を設けました。公儀鷹場（将軍鷹場）の外側で江戸から 5 里～10 里までの間の地域で、御三家、家門（親藩）、大藩に対し、鷹場を与えました。

富士見市一帯は、御三家のうち尾張藩の鷹場でした。尾張藩の鷹場は、入間・多摩・新座の３郡にわたり、20 ㎞四方に及ぶ広大な地域でした。市内では、鷹場の範囲を示す石の境杭が勝瀬、東大久保、水子に建っていましたが、現存しているのは、東大久保と水子の２基のみです。

尾張藩の鷹場内には、鷹場の管理にあたる「鳥見陣屋」が寛政 5 年（1793）水子村に置かれました。市内には、鷹場内での案内や取締りの実務にあたった鳥見役、陣屋守りであった家がありました。

答え③

答え④

【問題 6 解説】新河岸川舟運は、寛永 15 年（1638）に起きた川越の大火によって焼失した仙波東照宮（川越市）を再建するために資材を運搬したのがはじまりとされています。その後、正保４年（1647）に、川越城主の松平伊豆守信綱が沿岸を大改修して、川越から江戸の浅草花川戸までの交通路を開発すると、河岸場や船問屋が置かれました。

市内にも伊佐島河岸（勝瀬）・蛇木河岸（上南畑）・本河岸（鶴馬）・鵜河岸（鶴馬）・山下河岸（水子）・前河岸（水谷東）の 6 河岸が開設されました。

答え③

【問題 7】江戸時代から明治時代にかけて荒川や入間川の堤防決壊による水害が多発したが、その度に宗岡村（現志木市）と紛争になっていた堤の名前は何と言うか。

①石田堤
②荒川堤
③金子堤
④佃堤

【問題 8】川越街道が一部だけ通っている富士見市の字名は何か

①太田窪
②藤久保
③茶立窪
④東大久保

【問題 9】鶴馬村と勝瀬村が助郷で人馬を提供していた宿場町に通っている街道はどれか。

①川越街道
②中山道
③日光御成道
④赤山街道

【問題７解説】佃堤（つくだづづみ）とは、志木市宗岡と下南畑の境目にある荒川堤防と新河岸川を横に結ぶ堤です。その堤を含め、宗岡村全域は堤で囲まれていました。そのため、佃堤が決壊すると宗岡村に水がたまってしまうため、佃堤を高くしようとしましたが、下南畑村の人々は佃堤で水がせき止められるため、何度も紛争になりました。この紛争は、江戸時代から明治時代まで続き、当時の県会議員などの仲介により両村で防水につとめることを約束し、和解しました。
答え④

【問題８～10解説】江戸時代、市内の村々は宿駅に人足（にんそく）や馬を提供する助郷村（すけごうむら）や伝馬役（てんまやく）となっていました。鶴馬村、勝瀬村は川越街道沿いの大井宿（ふじみ野市）の助郷村となりました。針ヶ谷村は中山道沿いの浦和宿（さいたま市）の伝馬役として馬を提供し、水子村は川越街道沿いの大和田宿（新座市）の助郷村になっており、大井宿、膝折宿（朝霞市）に馬を提供していました。助郷とは、主な街道の宿駅にいつも人馬がおかれていましたが、その需要に応じきれなくなり、近隣の村々から人馬をだすように命令されたものです。
　勝瀬村では川越街道に面した土地がなかったため大井宿の助郷割り当てが膨大でした。そのため、苗間村（ふじみ野市）の一部、茶立窪（ちゃたてくぼ）を入手し、負担を軽減してもらいました。
答え③

答え①

【問題 10】江戸時代に鶴馬村と勝瀬村が助郷となっていた川越街道の宿場はどこか。

①川越宿
②大井宿
③大和田宿
④膝折宿

【問題 11】江戸時代の鶴馬村の斜面地で久礼奈為（くれない）という特産物が栽培されていたが、それは何か。

①藍（アイ）
②紅花（ベニバナ）
③薩摩芋（サツマイモ）
④赤蕪（アカカブ）

【問題 12】旧上南畑村と鶴馬村境の富士見川越道路（国道 254 バイパス）そばにある錫杖権現（しゃくじょうごんげん）の石塔はいつ頃建てられたものか。

①明暦期
②延宝期
③宝永期
④宝暦期

答え②

【問題 11 解説】紅花は、末摘花（すえつむはな）や久礼奈為（くれない）などとも呼ばれ、江戸時代から染料や口紅などに利用されました。武蔵国の紅花栽培は、寛政 7 年（1795）に上尾の七五郎によって始まったとされています。富士見市では、嘉永 6 年（1853）の文献で、「鶴馬の村を通り、女どもが畑でくれないの花をつんでいたので、何の花かと聞くと紅花だと言う」と書かれています。当時、亀久保村（ふじみ野市）に紅花の仲買人がいて鶴馬村（山室など）の斜面地は紅花の生産地帯でした。
答え②

【問題 12 解説】旧上南畑村と鶴馬村の境で、富士見川越道路（国道 254 バイパス）そばに錫杖権現（しゃくじょうごんげん）の角塔があります。ここは村の境であったことから災いや悪疫が村に侵入するのを防ぎ、村の安全を祈願して、宝暦（ほうれき）4 年（1754）に瑠璃光寺念仏講中（るりこうじねんぶつこうじゅう）である折戸（おりと）地区（旧鶴馬村）の人たちによって造立されました。村人は「しゃくじょうさん」、「しゃくじさん」などと呼んで拝んだといわれています。
答え④

【問題 13】諏訪（折戸）に江戸時代の面影を残す長屋門が 3 棟あるが、何家の長屋門か。

①横田家
②鈴木家
③加治家
④大澤家

【問題 14】東大久保の大澤家の表門に傷跡を残した一揆の名前をなんと言うか。

①江戸一揆
②武州一揆
③慶応一揆
④一向一揆

【問題 13 解説】江戸時代の面影を残す、長屋門は名主などの格式の高い家か寺院でないと建築が許可されなかったと言われています。富士見市には、長屋門 9 棟が現存しています。勝瀬（屋敷廻り）の塩野家、諏訪（折戸）の加治家 3 棟、瑠璃光寺、鶴馬（御庵下）の横田家（昭和 48 年に改築）、針ヶ谷南通りの鈴木家（現、難波田城公園に移築復元）、上南畑（鼠橋）の金蔵院、東大久保（南畑界）の大澤家です。
答え③

【問題 14 解説】武州一揆は「武州世直し一揆」「打ちこわし」「ぼっこし」「ぶっこわし」などと言われた百姓一揆です。慶応 2 年（1866）6 月、入間郡名栗村から大勢の人が立ち上がり、武蔵国一円と上野国 2 郡に広まり、参加者は 10 数万人を数える程の一揆となりました。富士見市でも鶴馬、上南畑、東大久保、水子、針ヶ谷などの名主、船問屋などが被害を受けました。東大久保の市指定文化財、大澤家表門（長屋門）には当時の傷跡が今も残っています。
答え②

大澤家表門（長屋門）

【問題 1】明治維新の頃、彰義隊（しょうぎたい）の残党たちが処刑され、その供養塔が残されている地はどこか。

①錫杖権現（しゃくじょうごんげん）
②瑠璃光寺（るりこうじ）
③金蔵院（こんぞういん）
④興禅寺（こうぜんじ）

【問題 2】大正 11 年（1922）11 月から大正 13 年（1924）にかけて小作料の引下げを要求して、市内で起こった代表的な争議を何というか。

①南畑小作争議
②水田小作争議
③針ヶ谷小作争議
④鶴瀬小作争議

【問題 3】市内旧新河岸川沿いに造られたレンガ造りの樋門（ひもん）が残されている地域はどこか。

①水子
②鶴馬
③南畑
④勝瀬

【問題 1 解説】明治維新の慶応 4 年（1868）、下南畑の曹洞宗興禅寺（こうぜんじ）を占拠して、地元の資産家から金品の強奪を行っていた彰義隊の残党と地元の無頼漢（ぶらいかん）を加えた 13 人の一団がいました。それにたまりかねた村人が官軍に通報したため、彼らは上南畑と鶴馬の境である錫杖権現（しゃくじょうごんげん）の地で処刑されました。そのため、供養塔が興禅寺境内に造られました。供養塔には、その事件のあらましと天と誅（ちゅう）の文字が入った戒名が刻まれています。
答え④

【問題 2 解説】大正 11 年（1922）から大正 13 年（1924）にかけて小作料の引下げを要求して南畑小作争議が起こりました。小作人は団結して地主との交渉にのぞみ、村内地主との間では解決しました。しかし、村外の地主はこれに応じなかったため、小作人たちは耕作を放棄しました。その結果、小作人の要求は受け入れられ、大正 13 年（1924）4 月に争議は解決しました。
答え①

【問題 3 解説】明治期の近代化遺産を代表するものとしてレンガ造りの樋門（ひもん）が南畑地域に２ヶ所残されています。明治 37 年（1904）に、洪水時、旧新河岸川からの逆流を防ぎ、堤防内の排水を行う目的で造られた「水越門樋（みずこしもんぴ）」（上南畑）と「山形樋管（ひかん）」（下南畑）があり市指定文化財となっています。水路がトンネルのように道路や堤防の下を通り抜ける施設を樋門（ひもん）、樋管（ひかん）、門樋（もんぴ）などと呼びます。
答え③

【問題 4】明治時代になってから富士見市の各村が埼玉県となるまで沢山の県名に変わったが、それに当てはまらない県名はどれか。

①入間県
②熊谷県
③品川県
④浦和県

【問題 5】新河岸川の舟運が衰退した理由として、誤っているものはどれか。

①鉄道の開通
②南畑の合併
③河川改修工事
④関東大震災

【問題 6】昔、市内の新河岸川に架かる橋が一つしかなかったため、渡し舟が利用された。新河岸川の渡し場はいくつあったか。

① 5 ヶ所
② 6 ヶ所
③ 7 ヶ所
④ 8 ヶ所

【問題４解説】明治４年（1871）の廃藩置県（はいはんちけん）をかわきりに、明治９年（1876）まで頻繁に県の統廃合が行われました。明治４年７月には南畑村３村は品川県、大久保村・上鶴馬村・勝瀬村は川越県、下鶴馬村・水子村・針ヶ谷村は前橋県でした。その４ヵ月後の 11 月には全ての村が入間県、熊谷県を経て、明治９年に埼玉県となりました。
答え④

【問題５解説】新河岸川の舟運は、大正３年（1914）５月の東上鉄道開通のほか、新河岸川改修工事により水深が浅くなり、関東大震災で舟が焼失して、非常輸送用に徴集されたことにより、衰退していきました。
答え②

【問題６解説】大正時代（1912～1926）頃まで、市内の新河岸川に架かる橋は南畑橋だけでした。そのため、主に荷物を積んだ馬車は橋を利用せざるをえなかったが、それ以外は渡し舟を利用しました。市内の渡し場は上流から、蛇木（上南畑）・竹の内（下南畑・水子）・木染（下南畑、水子）山下（水子・下南畑）・乗越（下南畑）５ヶ所にあり、市内の村々を結んでいました。
答え①

【問題 7】昔、新河岸川の舟運（しゅううん）の船頭居住地が市内では南畑村に集中していた。そのため、村をなんと呼んだか。

①船乗りの村
②船頭の村
③舟運の村
④船唄の村

【問題 8】昭和 10 年（1935）に NHK ラジオで南畑村の船頭が歌い好評を博したといわれる唄は。

①新河岸川舟唄
②新河岸川音頭
③南畑舟唄
④隅田川船唄

【問題 9】太平洋戦争中、昭和 18 年（1943）に鶴瀬東地区の通称「陣地」（じんち）と呼ばれたところに軍隊が配属されたが、何の部隊か。

①高射砲部隊
②通信部隊
③照空部隊
④兵器部隊

【問題 7～8 解説】安政 6 年（1859）頃の新河岸川舟運の船頭居住地は、福岡村（ふじみ野市）21 人、南畑村 19 人と、2 村に集中しており、「船頭の村」と呼ばれていました。南畑村は下田地区から蛇木（へびき）にかけて多く、親子や夫婦の船頭もいたといいます。昭和 10 年（1935）7 月、NHK ラジオで船頭の秋元氏と押田氏が「新河岸川舟唄」を歌い、好評を博したといわれています。
答え②

答え①

ありし日の船頭・押田三兄弟（井田実提供）

【問題 9 解説】昭和 17 年（1942）4 月の東京初空襲とその後の戦況の悪化により、東京を守る地上防空部隊の増強をせまられていた軍隊は、昭和 18 年（1943）7 月、通称「陣地」（じんち）を鶴瀬東地区の地主 14 名から土地を借り上げ、そこに照空部隊を配属させました。大隊、中隊の 140 名ほどが駐屯し、敷地内には兵舎の他に病院などの施設が配置されました。
答え③

【問題 10】南畑や東大久保に残る、水害の時に避難するために、造られたその塚は何か。

①石塚
②京塚
③貝塚
④水塚

【問題 10 解説】荒川と新河岸川、柳瀬川の流域に住む市内の人々は、昔からたびたび水害にあってきました。南畑や東大久保では、対策として、増水で水が溢れてきても大丈夫のように盛り土をして、水塚（みづか、みずづか）を造り避難しました。現在でも市内で水塚を残している家が数件見られます。
答え④

下南畑の水塚

【問題 1】下南畑の難波田城公園近くの田んぼに「宝篋印塔（ほうきょいんとう）」の一部が 2 基残こされているが、その塚は何と呼ばれているか。

①供養塔塚
②宝篋印塔塚
③五輪塚
④水塚

【問題 2】市内のお堂境内にある元禄 3 年(1690)の馬頭観音は、馬の姿を浮き彫りした特異なものであるが、その境内はどこか。

①山室観音堂
②渡戸観音堂
③上沢薬師堂
④別所阿弥陀堂

【問題 3】市内には多くの庚申塔があり、庚申の夜、人間の身体から抜け出し、帝釈天に悪事を報告する三匹の虫がいるといわれるが、そうでないものはどれか。

①上シ
②甲シ
③中シ
④下シ

【問題 1 解説】下南畑の難波田城公園、西側塀の外に難波田氏の墓もしくは供養塔といわれる中世の石造物があり、五輪塚と呼ばれています。実際には「宝篋印塔（ほうきょういんとう）」の一部が 2 基残こされています。ここに、戦に敗れた後に、鎧(よろい)などの供養品を埋めたといわれ、人々はこれを掘ると災（わざわ）いがあるといましめあってきました。時代が変わって、村の者たちの諌（いさ）めも聞かず、ある男が塚を掘り、その真夜中に、戸の隙間から外を見ると、馬も鎧も血に染めた鎧武者が男に向かって来るのを見て、 震えながらお題目を唱えたら消えていったといいます。塔をあばく者があれば「白い馬にまたがった鎧武者が来る」という伝説が残されています。
答え③

【問題 2 解説】馬頭観音は大別すると像塔と文字塔があります。馬頭観音は六観音の一つであり、恐ろしい顔をした忿怒相（ふんぬそう）です。頭上に馬頭をのせていることから、一般に馬の守り神のように思われ、飼い馬が死んだ際に冥福を祈るものとされてきました。市内には 88 基確認されており、文字塔は「馬頭観世音」「馬頭観音」「馬頭尊」と文字が刻まれたものが多く、その内 19 基が像塔です。文字塔の中に、渡戸観音堂境内にある元禄 3 年(1690)の馬頭観音は、1 基だけ馬の姿を浮き彫りにした特異なもので、入間東部では唯一のものといわれています。
答え②

【問題 3 解説】富士見市には寛文 4 年(1664)から昭和 48 年(1973)まで、41 基(平成 10 年調査)の庚申塔（こうしんとう）が建立されています。庚申とは、干支の一つ、庚(かのえ)申（さる）のことで、10 干 12 支を組み合せていいます。道教の三シ説は「上シ、中シ、下シという三匹の虫が、人間の身体の中にいて、日夜人間の行動を監視しています。庚申の夜、眠っている間に身体から抜け出し、帝釈天（たいしゃくてん）に人間の悪事を報告します。帝釈天はそれにより寿命を縮める。」といわれ、人々は悪事を報告されないよう庚申の夜は眠らずに徹夜し朝を待ったといいます。
答え②

【問題 4】渡戸の星野平太夫（修験者・山伏）が修行したといわれる出羽三山に含まれないものはどれか。

①月山
②湯殿山
③鳥海山
④羽黒山

【問題 5】渡戸の星野平太夫は、薬草、薬石にも通じ「諸病平癒」（しょびょうへいゆ）の祈願を行っていたところから庶民になんと呼ばれたか。

①薬草坊主
②無病坊主
③三日坊主
④医者坊主

【問題 6】上沢の薬師堂に百体の観音像「百観音」が建立されている。この百観音は百か所の札所（霊場）を巡礼し、建立されたものであるが、それに含まれない札所はどこか。

①西国 33 か所
②坂東 33 か所
③四国 33 か所
④秩父 34 か所

【問題 4～5 解説】渡戸 2 丁目の共同墓地内に、元禄 11 年（1698）に亡くなった先達星野平太夫の墓（無縫塔・卵塔）があります。星野平太夫は出羽三山（湯殿山・月山・羽黒山）に修行した行者（修験者・山伏）で薬草、薬石に通じ、「諸病平癒」（しょびょうへいゆ）など祈願を行っていたところから「医者坊主」と呼ばれ、庶民の心のよりどころとなっていました。墓には「遠山晃海信士・元禄十一年戊寅年・二月廿二日俗名平太夫」とあり、これが「医者坊主の墓」といわれています。平太夫は死期が近くなった時に、村人に対し「我が死した後、願い事がおきたならば墓前に酒を供えよ、必ずや聞きとどけん」と言い残したと伝えられています。
答え③

答え④

医者坊主の墓

【問題 6 解説】上沢の薬師堂（上沢 2 丁目）の境内に「上沢の百観音」ともいわれる百体の観音像が並んでいます。鶴馬村上沢の組頭（くみがしら）であった大曾根家の祖先が、寛政 10 年（1798）頃から文久 2 年（1862）の 63 年にかけて、親・子・孫の三代にわたり、「西国 33 か所」「坂東 33 か所」、「秩父 34 か所」の百か所の札所（霊場）を巡礼し、三代目で全てを参拝しました。農閑期を利用して長い年月をかけて巡礼し、その徳を多くの人々に分けるために、大曾根氏の子孫が観音石仏の建立を計画し、建設資金は近隣の村人などの寄進によって行い、明治 2 年（1869）に建立し終わったと石碑に記されています。
答え③

【問題 7】天保 15 年(1844)に、舟運で賑わった山下河岸（水子）の船問屋山田佐平治建立の道標（みちしるべ）に記されてない道はどれか。

①ひき又　十五丁
②山下川岸　三丁
③新河岸川　三丁
④所さわ　三里

【問題 8】水子にあり市指定文化財になっている道標（みちしるべ）を何というか。

①天保の河岸道
②舟問屋の道標
③天保の道案内
④天保の道標

【問題 9】上沢 1 丁目あたりの「赤飯塚」（せきはんづか）と呼ばれた所で、畑を荒らしていた動物は何か。

①モグラ
②ムジナ（タヌキ）
③オトウカ（キツネ）
④ノウサギ

【問題 7～8 解説】天保 15 年(1844)に、舟運（しゅううん）で賑わった水子の山下河岸船問屋山田佐平治建立の「天保の道標（みちしるべ)」は、川越からひき又（志木市）へ向かう道と、所沢から山下河岸の河岸道の交差点（現、県道ふじみ野朝霞線水子の町屋前の辻)に建てられた道標です。かつての新河岸川舟運の隆盛を今に伝える富士見市に唯一残された貴重な石造物で、昭和 52 年(1977)純粋な道標として市指定文化財になっています。以前は、現在の南、県道の向かいにありましたが、移設されました。四面に「ひき又十五丁、所さわ三里、川ごへ三里半、山下川岸三丁、天保十五甲辰三月吉日願主山田屋佐平治」と刻まれています。
答え③

答え④

天保の道標

【問題 9 解説】現在の上沢 1 丁目あたりが、もと「赤飯塚」（せきはんづか）と呼ばれていた頃は、雑木林の茂る武蔵野の一角で、東には権平川が流れ起伏の多い地でもあったといわれます。こんもり茂った丘状の林の中にひと群れのオトウカ(キツネ)がすんでおり、食糧が乏しくなると付近の畑が荒らされ、貯えた物もいたずらされました。困った農家の主人が赤飯をオトウカの住む林に持って行き、荒らさないように話かけたところ、その後、作物は荒らされなくなったといいます。人々はこの地を「赤飯塚」と呼び、この地名を残し長く語り伝えたといいます。「赤飯塚」の地名は、元禄 12 年(1699)の検地帳に「せきはん塚」とあります。
答え③

【問題 10】東大久保の車地蔵に念仏を唱えながら、車を回すと極楽が約束されるといわれる。その車に幾つかの呼び名があるが、その呼び名でないものはどれか。

①回転車
②念仏車
③輪廻車
④後生車

【問題 11】市内にある丸彫り四大地蔵で、東みずほ台 1 丁目交差点辻角に建っている地蔵はどれか。

①山王坂地蔵
②真光寺の地蔵
③並木地蔵
④来迎寺の地蔵

【問題 12】江戸時代に鶴馬と水子の境の本郷橋のほとりで、太郎兵衛は病気のお父さんのために、禁猟とされていた何の鳥を捕まえて罰せられたか。

①鷺（サギ）
②鷹（タカ）
③鴨（カモ）
④鶴（ツル）

【問題 10 解説】東大久保新堀の地蔵菩薩「車地蔵（くるまじぞう）」は、庶民信仰が盛んだった元禄 8 年(1695)に造立されたものです。地蔵は内に菩薩の行を秘め、外に僧の姿を現し、常に死後の六道の辻に立って迷える衆生（しゅじょう）を極楽浄土へ導く役割を果しています。祠（ほこら）の親柱に木製の車が取り付けられており、この車を念車・念仏車・後生（こうせい）車・輪廻車とも呼んで、念仏を唱えながら車を廻せば極楽が約束されるといわれています。県下でも類例を見ない珍しいものです。
答え①

【問題 11 解説】昔からの街道筋にあたるところ。東みずほ台１丁目の並木交差点辻角に建っているのが、並木地蔵と呼ばれ市内にある丸彫り四大地蔵の一です。並木地蔵は高さ 2.58m で、ここに建てられたのは享保 8 年(1723)です。他の三体は水子の元禄 14 年（1701）の山王坂地蔵、東石井真光寺跡の天明元年（1781）の地蔵、鶴馬来迎寺の享保 8 年（1723）の地蔵があります。お地蔵さんは、四辻や村境などに多く置かれ、悪疫退散（あくえきたいさん）や旅の安全を守り部落内の守護仏として建てられたものです。
答え③

【問題 12 解説】江戸時代のこと、太郎兵衛という農夫が病気の父親に生血を飲ませるとよいことを聞き、父を思う一心から、禁猟の鶴を殺してしまいました。それが、役人の知るところとなり、鶴馬と水子の境の本郷橋のほとりではりつけにされたという話が伝えられています。この親孝行の若者の死を悲しみ、村人たちが庚申供養塔をたてたといわれています。本郷中学校の北側に「寛政四年(1792)十一月、庚申供養塔」と刻まれた石碑が建立されています。
答え④

【問題 13】川越領主松平伊豆守信輝が元禄 6 年（1693）頃のこと、好物の酒を断って、用水工事に奔走して完成させたことにより、「南畑下戸に酒三杯」と称された人物はだれか。

①与兵衛
②権兵衛
③作兵衛
④八兵衛

【問題 14】南畑公民館裏の墓地内にある塚（石塔）で寺子屋の師（僧侶や修験者）の恩を報いる目的で、弟子たちが造立したものを何というか。

①弟子塚
②筆子塚
③卵塔塚
④筆師塚

【問題 15】南畑公民館裏の墓地内にある旧東光寺住職の石塔を何というか。

①卵子塔
②無縫塔
③筆子塔
④墓石塔

【問題 13 解説】元禄 6 年(1693)頃のこと、下南畑の名主であった小山作兵衛は、「古谷、南古谷内（川越市)」近郷の２４か村と計って、川越領伊佐沼より水を引くことを発議し、自ら惣代となり領主に願い出て、水路を掘る許可を得て着工しました。作兵衛は用水工事のために好物の酒を断って奔走しました。竣工祝いの席で、川越領主松平伊豆守信輝から功労を賞して酒を賜ったところ、彼が大盃を三度飲みほしたのに驚き、「南畑下戸に酒三杯」と称されたと伝えられています。この作兵衛とは、下南畑の小山家の先祖で墓地には、宝永２年（1705）に没した墓石が建立されています。
答え③

【問題 14～15 解説】寺子屋の師（僧侶や修験者）の恩を報いる目的で弟子達が造立したのが筆子塚で、墓石や墓塔の側面に弟子の氏名、筆子中などが彫られています。市内では 10 基近くの筆子塚が残されています。中でも南畑公民館裏の（旧薬師堂墓地）の無縫塔(卵塔・蘭塔ともいい、六角または八角の台座の上に卵形をした頭身を載せた石塔）は寺子屋が全国に広まった幕末よりも 200 年も前に開かれ、寺子屋の先駆者といわれ、「お聖人さま（しょうにん)」と慕われた旧東光寺住職の承覚法印のものです。塔には延宝 4 年（1676）5 月 7 日とあり、筆子の名を刻んだものとして県内最古であるといわれています。
答え②

答え②

筆子塚

【問題 16】富士見台中方面から下鶴馬の氷川神社に上る坂で、上るのが大変だった急坂を何というか。

①後押し坂
②容易でない坂
③なんだ坂
④尻ったれ坂

【問題 17】水子正網の氷川神社から柳瀬川に架かる富士見橋に向かう坂で浦和所沢バイパスと交差する坂はなにか。

①富士見坂
②正網坂
③山王坂
④神楽坂

【問題 16 解説】富士見市にある坂の多くは、個性的な坂名や別名をもっています。坂にまつわる伝説で、坂からの眺め・勾配・形状・字名・家名・屋号・人名などから名付けられています。富士見台中方面から下鶴馬氷川神社に上る坂は「尻ったれ坂・宮坂」と呼ばれ、昔、南畑方面から荷物や俵を積んだ牛車や手車で上るのは容易でなく、尻がたれさがるようで、後押しが必要であったといわれていた坂です。
答え④

【問題 17 解説】「山王坂」は、水子正網（しょうあみ）の氷川神社から柳瀬川に架かる富士見橋に向かう坂で、浦和所沢バイパスと交差しています。昔、山王神社があったことから頭文字をとって命名されたといいます。この神社は明治時代に正網氷川神社に合祀されました。
答え③

山王坂

【問題 1】明治 6 年（1873）11 月に 8 村が連合して初の小学校が開校された寺院は。

①大応寺（だいおうじ）
②興禅寺（こうぜんじ）
③淨禅寺（じょうぜんじ）
④来迎寺（らいごうじ）

【問題 2】水子の大応寺の鐘楼門は上層部が珍しい鐘撞堂になっているが、何色か。

①黄（き）
②群青（ぐんじょう）
③黄土（おうど）
④朱（しゅ）

【問題 3】上南畑の金蔵院に、かつてあった樹齢 500 年以上といわれた老木はなにか。

①楠（クス）
②杉（スギ）
③桜（サクラ）
④樅（モミ）

【問題 1 解説】鶴馬の来迎寺（らいごうじ）は西雲山光明院来迎寺といい、天台宗で古谷灌頂院の末寺です。本尊は阿弥陀如来三尊。開祖、開基は不明ですが、鎌倉時代創建ともいわれています。かつては鶴瀬西丸池付近にありましたが、再三火災に見舞われ移転し、現在（鶴馬）に至ります。昭和 56 年（1981）本堂を建て替えた際に、天井裏から「宝暦 8 年（１758）南に向けこれを立つ」旨の木札が発見されています。宝暦年間（1751～1764）晃順という住職が寺子屋を開設し、寺子 15 人の記録が残されています。明治になって政府の学制発布を受け、鶴馬、水子など 8 村が連合して、明治 6 年（1873）11 月に鶴馬学校が開校されました。寺の境内にある「延命地蔵像は、下郷の女人講中 68 人にて享保 8 年(1723)に建立した由緒ある地蔵です。
答え④

【問題 2 解説】水子の水光山大応寺は立派な山門をもつ古寺で、真言宗智山派（総本山は京都智積院）に属しています。創建は不詳ですが室町時代の開山の祖が天文 17 年（1548）没して以来、34 世を数えると言われます。本尊は不動明王です。鐘楼門は享保 4 年(1719)造立されたもので、朱色の回廊の見える上層部が鐘撞堂になっています。近隣にもあまり見かけない鐘楼門です。山内には山岡鉄舟筆「水光山」の額があります。本堂は寛政元年（1789）に建てられたものが平成 21 年（2009）に建て替えられました。
答え④

【問題 3 解説】上南畑の金蔵院は真言宗智山派に属し、総本山は京都東山の智積院です。本尊は如意輪観音です。火災により焼失するが、幾度となく再建を重ねて今日に至ります。かつて、樹齢 500 年以上の大杉の老木があり、「金蔵院の大杉」と広く住民に親しまれてきましたが、昭和 32 年（1957）に本堂屋根の改築のため伐採されました。現在は根株だけが残っています。
江戸時代には寺子屋が開かれましたが、明治 7 年（1874）に本堂を仮校舎として南畑小学校の前身である上南畑村立徳明学校が開校されました。
答え②

【問題 4】下南畑にある興禅寺の本尊、聖観世音菩薩は誰の作といわれているか。

①冬日
②夏日
③春日
④秋日

【問題 5】上南畑にある興禅寺山門前にある像はなにか。

①馬頭観音像
②阿弥陀如来像
③不動明王像
④青面金剛像

【問題 6】東大久保の鎮守で、女神を祀り山の名がついた神社は。

①阿蘇神社
②富士神社
③三峰神社
④大山神社

【問題 4～5 解説】下南畑の興禅寺（こうぜんじ）は禅宗の一派で道元を開祖とする曹洞宗のお寺です。本尊の聖観世音菩薩は、室町末期の仏師、春日の作と伝えられています。天文年間（1532～1555）に火災にあい廃寺となり、その後江戸時代に川越渋井の蓮光寺住職によって再建されました。そのときは光禅寺といいましたが、後に現在の興禅寺と改めたといいます。山門前に立つ丸彫りの青面金剛（しょうめんこんごう）像は、人の身の丈ほどで文字が彫られていないという特徴があり、近隣にもあまり例のない庚申塔（こうしんとう）です。
答え③

答え④

興禅寺庚申塔

【問題 6 解説】東大久保にある阿蘇神社の祭神は阿蘇比女之尊（あそひめのみこと）で、九州の阿蘇神社がルーツで武蔵国では東京都羽村市とここにしかない貴重な神社であると、「江戸名所絵図」に記載されています。かつて、修験道（しゅげんどう）の寺で難波田城跡にあった十玉院（じゅうぎょくいん）の配下に置かれ、万蔵院（まんぞういん）が別当になっていたと思われます。中世では古谷郷（川越市）の古谷信秀の一門の中筑後守資信の産土神（うぶすながみ）と伝えられています。
答え①

【問題 7】水子の正網氷川神社の「正網」の呼び方はどれか。

①せいあみ
②しょうあみ
③せいもう
④しょうつな

【問題 8】勝瀬の榛名神社は何と呼ばれ親しまれているか。

①おはあさま
②おはるさま
③はるなはん
④はんなさま

【問題 9】勝瀬の榛名神社に伝わる伝説を何というか。

①お藤山伝説
②お舟山伝説
③お波山伝説
④貝塚山伝説

【問題 7 解説】水子の正網（しょうあみ）氷川神社は旧水子村の村社で、祭神は須佐之男命・素盞嗚尊（すさのおのみこと）が、農業の守り神としてあがめられています。大宮の氷川神社を分祀したものです。創立年月は不明ですが、社殿の棟札に弘治元年（1555）再建の記録があります。水子地区は、荒川・新河岸川をひかえ洪水地帯ゆえに、村民は苦しい時の神だのみで当社を深く崇拝してきています。明治 5 年(1872)、水子地区の村社となりました。神仏分離以降、水子・針ヶ谷・志木の氷川神社を、神職水宮家が奉仕しています。
答え②

【問題 8～9 解説】勝瀬の榛名神社は、祭神を「埴山姫命（はにやまひめのみこと)、豊受姫命（とようけひめのみこと)」の女神で「はんなさま」と呼び親しまれています。農業神として祀られ、4 月 10 日の祭礼日は、お囃子（はやし）が奉納され、植木市などが立ちます。境内には樹木も多く、イチョウの大木は樹齢 400 年を超すとされ、市の指定文化財になっています。当社には創立に関わる「お舟山伝説」があります。大昔、榛名神社一帯が海であった頃、榛名大権現・薬師如来・貝塚稲荷の三方が鉄の舟に乗っていたところ、運悪く舟が沈没し、貝塚稲荷は貝塚山に、薬師如来は西の方に、榛名大権現は大きな藤の木につかまり上陸し、現在の社に鎮座したといわれています。舟が沈没したところは「お舟山」といわれ、藤の木のあったところを藤島と呼ばれています。
答え④

答え②

榛名神社

【問題 10】諏訪神社の例大祭で奉納される獅子舞に伝わる話はなにか。

①悪疫退散の舞を奉納したら疫病が治った。
②いたずらっ子を獅子でおどしたら、いい子になった。
③山の神にお願い事をしたら、山が木々で青々とした。
④大昔、獅子が神社に住んでいた。

【問題 11】太田道灌が川越・鶴馬を検地した頃、家来が獅子舞を伝え、現在も諏訪神社の祭礼で舞を奉納している組はどこか。

①勝瀬組
②鶴瀬組
③渡戸組
④鶴馬組

【問題 12】諏訪神社（諏訪 2 丁目）の例大祭で獅子舞が奉納される日は何月何日か。

①3 月 3 日
②4 月 8 日
③7 月 15 日
④8 月 28 日

【問題 10～12 解説】旧鶴馬の諏訪神社（諏訪 2 丁目）の建立は、元禄 5 年（1692）といわれ、建御名方之命（たけみなかたのみこと）を祭神としています。総本社は長野県の諏訪大社です。通称、「おすわさま」と親しまれ、悪病よけの神、また、農業神としての信者が多く、8 月 28 日の例大祭にはナス・キュウリ・枝豆などがそなえられます。
例大祭で奉納される渡戸の獅子舞は、伝えるところによると、太田道灌が江戸城築城後、その外城の地として川越と鶴馬を検地した頃、疫病が流行し、多くの病人が出ました。
道灌の家来が京より 3 頭の獅子面と山の神面を購入し、和田戸（現在渡戸）の名主宅に村民を集め、舞を伝えた後、諏訪大明神の社頭で悪疫退散の舞を奉納したところ、病は治ったといいます。以後、渡戸組においては、獅子舞の維持発展に尽力し、現在に至ります。
答え①

答え③

答え④

諏訪神社　獅子舞

【問題 13】下南畑八幡神社に奉納されている社宝はなにか。

①刀（かたな）
②剣（つるぎ）
③鰐口（わにぐち）
④冠（かんむり）

【問題 14】市内にある入間東部地区最古の板碑形式墓碑である庚申文字塔があるところは。

①山室墓地
②上沢観音堂
③羽沢薬師堂
④勝瀬護国寺

【問題 15】市内に氷川神社は何社あるか。

① 4 社
② 5 社
③ 6 社
④ 7 社

【問題 13 解説】下南畑八幡神社は応永 7 年(1400)、南畑地域を鎌倉鶴岡八幡宮に寄進して神社の領地となり、同社を分祀奉納したと伝えられています。神社に奉納された室町時代の鋳造（ちゅうぞう）の鰐口（わにぐち）は社宝と伝えられています。明治時代に新潟のお寺から八幡神社に移されました。これの表裏には銘文が刻まれており、表には応永期（1394～1428）に中山大明神に奉納されたことが、裏に難波田与太郎が小代総社八幡宮に再び奉納したとあります。難波田与太郎は、難波田氏一族で、16 世紀後半に宗岡（志木市）に領地をもっていました。中世の貴重な資料のため、平成 13 年（2001）に市指定文化財となりました。
答え③

【問題 14 解説】諏訪 1 丁目の山室墓地・地蔵堂は明治 11 年（1878）に廃寺となった宝蔵寺（ほうぞうじ）跡です。開基開山は不明。本尊は阿弥陀如来で、現在は古谷灌頂院に移してあります。墓地内には、寛文 4 年（1664)、入間東部地区最古の庚申文字塔（板碑形式墓碑）が建立されています。
答え①

【問題 15 解説】氷川神社は市内に 6 ヶ所あります。上鶴馬氷川神社（諏訪)、下鶴馬氷川神社（鶴馬)、水子氷川社、正網氷川神社、針ヶ谷氷川神社、下南畑氷川神社で、大宮の氷川神社を奉っています。針ヶ谷だけは、志木市の館（たて）氷川神社から祀られたといわれています。
答え③

【問題 1】水子貝塚公園は、縄文時代の貴重な遺跡として国指定史跡になっているが、指定されたのはいつか。

①昭和 38 年（1963）
②昭和 44 年（1969）
③昭和 47 年（1972）
④昭和 50 年（1975）

【問題 2】水子貝塚公園は、平成 7 年（1995）に国土交通省から「手づくり郷土賞」を受賞後、平成 19 年（2007）にはあるものに選定されたがそれは何か。

①日本の歴史公園 100 選
②郷土の歴史公園 10 選
③日本の貝塚公園 10 選
④郷土の歴史公園 100 選

【問題 3】水子貝塚は国の史跡に指定されが、その面積は次のうちどれか。

①約 29,346 ㎡
②約 39,346 ㎡
③約 49,346 ㎡
④約 59,346 ㎡

【問題 1～3 解説】水子貝塚は昭和 12 年（1937）発見以来、数回の発掘調査によって小規模な貝塚が環状（かんじょう）に分布する縄文時代のムラの跡であることが判明し、その貴重さから昭和 44 年（1969）に国史跡に指定されました。指定地の面積は約 39,346 ㎡（東京ドームの 0.84 倍）です。翌年から 20 年の歳月をかけ用地を取得し、平成３年（1991）から公園整備を開始しました。平成 6 年（1994）に「水子貝塚公園」としてオープンし、「縄文ふれあい広場」として親しまれています。平成 7 年（1995）には国土交通省から「手づくり郷土賞」を受賞し、平成 19 年（2007）には「日本の歴史公園 100 選」にも選ばれました。
答え②

答え①

答え②

水子貝塚公園（竪穴住居）

【問題 4】水子貝塚公園内には、当時の森を復元した森がある。その森の呼び名は。

①貝塚の森
②水子の森
③海進の森
④縄文の森

【問題４解説】水子貝塚公園には資料館・展示館の他、約 6,000 年～5,500 年前の関東平野・奥東京湾の地図などのある説明広場、様々な学習や体験のできる学習広場、展望台、縄文時代の暮らしを再現している復元竪穴住居、貝塚のあった場所を示す貝塚表示、当時の森を復元した縄文の森などがあります。
答え④

水子貝塚公園（縄文の森）

【問題 1】難波田城公園は、難波田城跡を保存、活用することを目的に 3 ヶ年かけて整備し、開園したが、その年は何年か。

①昭和 60 年（1985）
②平成 2 年　（1990）
③平成 12 年（2000）
④平成 20 年（2008）

【問題 2】難波田城公園の旧大澤家住宅は市内のどこの地区から移築されたものか。

①鶴馬
②上南畑
③東大久保
④水子

【問題 3】難波田城公園に移築された旧大澤家住宅の建築された時期はいつか。

①安政 4 年（1857）
②明治 4 年（1871）
③大正 4 年（1915）
④昭和 4 年（1929）

【問題１解説】難波田城公園は、難波田城跡を保存、活用することを目的とし３ヵ年かけて整備し、平成 12 年（2000）６月に開園しました。開園した日を記念して毎年６月に難波田城公園まつりが行われるようになりました。公園内は、城跡を復元した城跡ゾーンと富士見市指定文化財の民家を移築した古民家ゾーンに分かれ、その中央に中世以降の歴史を紹介する難波田城資料館があります。
答え③

【問題 2～3 解説】難波田城公園内の旧大澤家住宅は、市指定文化財となっており、江戸時代の初めから大久保村の名主をつとめた大澤家の母屋として、明治４年（1871）に建てられました。東大久保の大澤家には、今でも市指定の長屋門と穀蔵が残されています。移築された母屋は、かやぶきの木造平屋建てで、建築面積は約 85 坪と大規模で、名主の家の特徴である「式台」といわれる玄関や庭中門、長屋門を持ち、奥座敷の違い棚、付け書院など格式の高さを示す特徴を数多くもっています。
答え③

答え②

旧大澤家住宅

【問題 4】難波田城公園内の旧金子家住宅は市内のどこの地区から移築されたものか。

①針ケ谷
②上南畑
③東大久保
④水子

【問題 5】難波田城公園内に移築された旧金子家住宅には、農業のかたわら油商をしていたことから商家の造りと似た特徴をもつ部分はどこか。

①揚げ戸（あげど）
②自在鍵（じざいかぎ）
③囲炉裏（いろり）
④奥座敷（おくざしき）

【問題 6】難波田城公園内に移築された旧金子家住宅の間取り（部屋の配置）を何と呼ぶか。

①二つ間取
②三つ間取
③四つ間取
④五つ間取

【問題 4～6 解説】難波田城公園に移築された旧金子家住宅は、市指定文化財となっており、明治 4 年（1871）に建築された、約 54 坪の民家です。水子の金子家は、江戸時代末期から明治時代にかけて、農業のかたわら油商を営んでおり、現在も油屋という屋号で呼ばれています。正面西側の出入り口が商家に多い揚げ戸（あげど）になっています。そのためか、土間も広く、かまども目立たない場所にあります。間取りは、田の字型に区切られた 4 部屋で、「四つ間取」と呼ばれています。

答え④

答え①

答え③

旧金子家住宅

【問題 7】難波田城公園に移築された長屋門形式の表門は旧鈴木家のものであるが、どこの地区から移築されたものか。

①勝瀬
②針ヶ谷
③鶴馬
④東大久保

【問題 8】難波田城公園の城跡ゾーンには敵から城を守るために工夫された木橋が復元されているが、それは上から見るとどのような形をしているか。

①台形
②長方形
③ひし形
④Ｌ字形

【問題 9】難波田城公園は、城跡の約 3 分の 1 が整備されて実現した歴史公園である。その敷地はおおよそ何㎡か。

①約 7,000 ㎡
②約 17,000 ㎡
③約 27,000 ㎡
④約 50,000 ㎡

【問題 7 解説】難波田城公園の旧鈴木家表門は、市指定文化財となっており、明治中期に建築された、長屋門形式の門です。鈴木家は針ヶ谷村の名主をつとめました。
答え②

旧鈴木家表門

【問題 8 解説】難波田城公園の城跡ゾーンには、食い違い小口や発掘調査により復元された木橋（本城側が 1 間、約 1.8m、外側が 1 間半、約 2.7m の台形をした橋）、馬出し曲輪（くるわ）など、敵から城を守るための施設が再現されています。
答え①

【問題 9 解説】難波田城跡の全体規模は、50,000 ㎡以上と推定されています。公園の敷地面積はその 3 分の 1 である約 17,000 ㎡を整備した歴史公園です。敷地中央の難波田城資料館を挟んで、東側が戦国時代の難波田城の姿を復元した「城跡ゾーン」、西側が市内に建てられていた古民家を移築復元した「古民家ゾーン」となっています。
答え②

【問題 10】難波田城の城館形態は、次のどれか。

①山城
②丘城
③平城
④平山城

【問題 10 解説】難波田城は、荒川や新河岸川で運ばれた土砂によってつくられた堤防（自然堤防）の上に築かれた城館です。昭和 36 年（1961）に埼玉県旧跡に指定された平城（ひらじろ）です。上杉謙信の春日山城などは山城（やまじろ)、市内富士見台中にった宮崎氏館跡などは丘城（おかじろ）に分類されます。
答え③

難波田城跡

旧鈴木家長屋門

上空から撮影した水子貝塚公園

第３章
富士見の文化・くらし

(1)教育
(2)文化・くらし
(3)農・商・工業
(4)イベント・その他

勝瀬囃子・諏訪神社

【問題 1】市内中学校の体育着は色で学年が判るようになっている。デザインは各中学校で違うが、そのデザインを決めているのはどこか。

①教育委員会
②各中学校
③地域の専門委員
④ＰＴＡ

【問題 2】平成 24 年（2012）現在、市内に小学校と中学校、特別支援学校を含んで何校あるか。

①16 校
②17 校
③18 校
④19 校

【問題 3】昭和 54 年（1979）西中学校が設立された。当時市内では珍しい設備が備えられたが、それは次のうちどれか。

①50 メートルプール
②夜間照明
③人工芝野球場
④校庭にスプリンクラー

【問題 1 解説】市内中学校の体育着はエンジ色、青色、緑色の 3 色があり、1 年～3 年生まで市内で色は統一されています。平成 24 年度は、1 年生が緑色、2 年生が赤色、3 年生が青色となります。学校によりデザインは違い、それは各中学校に任されています。
答え②

【問題 2 解説】平成 18 年度（2006）に鶴瀬西小学校と上沢小学校が統一されて、つるせ台小学校が設立されました。以来、小学校 11 校、中学校 6 校、特別支援学校 1 校の 18 校となりました。

小学校　南畑、鶴瀬、水谷、関沢、諏訪、勝瀬、みずほ台、針ヶ谷、
　　水谷東、ふじみ野、つるせ台（11 校）
中学校　富士見台、本郷、勝瀬、水谷、東、西（6 校）
富士見特別支援学校（1 校）
答え③

【問題 3 解説】昭和 54 年（1979）、生徒数の増加に伴い、本郷中、富士見台中が学区編成され西中学校が設立されました。校庭には夜間照明が設置され、夜間の利用時には点灯してグラウンドを照らしていました。校庭に夜間照明は大変珍しく開校当時は話題となりました。
答え②

西中学校

【問題 4】南畑小学校には、6 年生全員で取り組んでいるクラブがあるが、それはどれか。

①よさこい隊
②鼓笛隊
③バトンクラブ
④マーチング隊

【問題 5】市内中学校では、昨今の少子化現象のため昔はどこの中学校にもたいていあった部活動のなかで、現在あるようでない運動部は次のうちどれか。

①野球部
②軟式テニス部
③サッカー部
④陸上部

【問題 6】昭和 30 年代にあった学校のうち間違いはどれか。

①鶴瀬小学校
②南畑小学校
③水谷小学校
④関沢小学校

【問題 4 解説】南畑小学校では市内で唯一鼓笛隊があり、市内の催しにも出場しています。6 年生全員が鼓笛隊に入り毎年完成度の高い演奏を聞かせてくれます。毎年、富士見市子どもフェスティバル・難波田城公園まつり等に出演しています。
答え②

南畑小学校鼓笛隊

【問題 5 解説】現在、市内の中学校では多くの生徒たちが運動、文化問わず積極的に部活動に取り組んでいます。しかし、昨今の少子化の中、部員が集まらず、また指導する教諭が少なくなってしまったために、それぞれの中学校では生徒が希望する部活動の種目が少なくやりたい部活動を求め、取り組みたい部活動がある学区外の中学校に越境入学することが出来るようになっています。その一つは陸上部が該当します。
答え④

【問題 6 解説】富士見市の小学校は、3 村合併当時は鶴瀬・南畑・水谷小学校の 3 校でした。その後、人口の急増から昭和 38 年（1963）鶴瀬西小学校、昭和 44 年（1969）関沢小学校、昭和 46 年（1971）勝瀬小・上沢小、昭和 48 年（1973）、水谷東小学校の順で開校しています。ちなみに昭和 46 年度は、学校建設がピークを向かえ、この年の富士見町の予算約 18 億円のうち、教育関係費のみで約 9 億 9 千万円と全体の 54%にも及びました。これは県下はいうまでもなく、全国的にもほとんど例をみないことでした。
答え④

【問題 7】富士見市に公民館が設置された昭和 32 年（1957）当時、活発な学習活動が行われていたが、次のうち無かったものはどれか。

①青年学級
②婦人学級
③家庭教育学級
④老人学級

鶴瀬公民館

南畑公民館

【問題 7 解説】終戦直後の社会教育活動は、青年団と婦人会がその中心でした。その後、昭和 31 年（1956）の合併の翌年に、鶴瀬公民館・南畑公民館・水谷公民館の 3 公民館が条例設置されて、独立した館(主に学校の空き教室を活用)はありませんでしたが青年学級や婦人学級、家庭教育学級や地区体育祭、敬老会など地域の社会教育活動の拠点となりました。昭和 39 年（1964）に大同博教育長が就任すると、富士見の社会教育は大きく展開しました。文化協会の発足や移動図書館車の配置、公民館施設の建設、社会教育職員の専門職配置など他市町村に先駆けて富士見の社会教育が発展しました。これらが評価され、昭和 57 年（1982）に第 22 回社会教育研究全国集会が富士見市で開催されました。

答え④

水谷公民館

水谷東公民館

【問題 1】終戦直後、都会から食料のジャガイモを求める人々が押しかけてきた。その時、大きな荷物をもった人々を運んだ列車をなんと呼んだか。

①買い物列車
②荷物列車
③ジャガイモ列車
④食料列車

【問題 2】昭和 25 年（1950）当時の鶴瀬・南畑・水谷の三村産業別人口では、新河岸川で漁業を生業としている人が 2 人おり、その 2 人が捕ってなかったものはどれか。

①鯉（こい）
②泥鰌（どじょう）
③鰻（うなぎ）
④蛙（かえる）

【問題 3】昭和 41 年（1966）、南畑の農業近代化の実績を視察された外国人で有名な作家は誰か。

①ミハイル･ショーロホフ
②レフ･トルストイ
③アーネスト･ヘミングウェイ
④ヘルマン･ヘッセ

【問題 1 解説】終戦直後、都会から東上線に乗って、連日ジャガイモを求める人々が押しかけてきました。当時、南畑地域は二毛作ができるようになっていて、田の裏作にジャガイモを作っていました。この時、都会から来た大きな荷物をもった人々を運んだ列車を買い物列車や買出し列車と呼んでいました。
答え①

【問題 2 解説】昭和 25 年（1950）当時の鶴瀬・南畑・水谷の三村産業別人口を見ると、その 77%が農業従事者でした。中には、漁業を生業としている人が 2 人おり、主にコイ・どじょう・うなぎ・ナマズなどを捕っていたそうです。
答え④

【問題 3 解説】昭和 36 年(1961)、当時の南畑出張所(現在いるま野農協南畑支店)の敷地内に立てられた南畑村記念碑には、農業経営の発展をめざし農地の集団化を目的とした、農地の「交換分合」の歩みが刻まれています。この取組みは、埼玉県のモデルにもなり耕地整理や農地改革も併せて、まれに見る南畑の農業の近代化を推し進めました。やがて東南アジアやアメリカなどからも視察団が訪れ、昭和 41 年（1966）には、旧ソ連のノーベル文学賞受賞作家ミハイル・ショーロホフも訪れました。
答え①

【問題 4】昭和 31 年（1956）9 月の 3 村の合併により富士見村が誕生した。合併検討の段階で、含まれていなかった村はどこか。

①南畑村
②針ヶ谷村
③鶴瀬村
④水谷村

【問題 5】富士見市は昭和 47 年（1972）4 月 10 日、三村が合併し市となったが、埼玉県下では何番目に市になったか。

①15 番目
②25 番目
③35 番目
④45 番目

【問題 4 解説】昭和 28 年（1953）、町村合併促進法が 3 年間の時限立法で制定されました。合併促進のための体制づくりは、鶴瀬・南畑・福岡・大井・三芳・柳瀬の 6 か村で鶴瀬行政支会にてすすめられました。合併の協議は、各村の思惑もあり難航しましたが、鶴瀬・南畑・三芳の３村は最後まで合併の可能性を探りました。

一方、水谷村は志紀町（現:志木市）との合併の経験もあり、村を 2 分する合併に向けた議論がなされていました。志木合併を望む「南進派」と鶴瀬合併を望む「北進派」との対立が鮮明となりましたが、最終的には、鶴瀬・南畑・水谷の 3 村による合併が 3 村の議会で議決され、昭和 31 年（1956）9 月に合併されました。新しい村名も一般公募から「富士見村」が選ばれました。
答え②

【問題 5 解説】富士見市は、昭和 47 年（1972）4 月 10 日富士見台中学校体育館において市制施行記念式典が挙行され、埼玉県下 35 番目の市として「富士見市」が誕生しました。当時の人口は、5 万 9265 人でした。翌年 9 月 3 日から新庁舎(現在の市庁舎)が業務開始されました。平成 23 年（2011）4 月 1 日現在、県内の市は 40 市を数えます。
答え③

【問題 6】富士見市にはいくつかの市民劇団があるが、次のうち実際にない劇団はどれか。

①南畑お月見一座
②劇団『極楽とんぼ』
③ピースフェスティバル市民構成劇
④しろうと劇団“演”

【問題 7】ベッドタウンとして成長してきた富士見市。夜間人口は 104,732 人（平成 17 年度国勢調査調べ）だが、昼間人口の割合は次のうちどれか。

①約 50％
②約 60％
③約 70％
④約 80％

【問題 6 解説】市内には『南畑お月見一座』、劇団『極楽とんぼ』、『ピースフェスティバル市民構成劇』の 3 つの市民劇団があります。

『南畑お月見一座』は南畑公民館「演劇のひろば」で行われた荒川村の高齢者劇団「つくしの会」の公演に感銘を受け、触発され集まった人たちで結成されました。旗揚げ公演は平成 10 年（1998）で、下は 30 代から上は後期高齢者まで、バラエティーに富んだ劇団です。

劇団『極楽とんぼ』は水谷東公民館の高齢者学級での講演会を契機に、平成 11 年（1999）6 月に結成しました。現在メンバーは 8 人。全員 60 歳以上です。時代劇を専門に 1 年で 1 作品を仕上げて公演しています。

『ピースフェスティバル市民構成劇』は、昭和 61 年（1986）から教育委員会の主催による平和事業の中で、一般市民の公募による市民構成劇を市民の手づくりで公演したのが劇団の始まりです。作品は、日常的な地域の暮らしの視点から、命の大切さや平和の尊さを構成劇に込めて脚本づくりをしています。

答え④

P158 の写真
左は劇団『極楽とんぼ』
右はピースフェスティバル市民構成劇

南畑お月見一座

【問題 7 解説】平成 17 年（2005）の国勢調査では、富士見市の人口は 104,732 人で昼間人口は 73,754 人でした。市内人口の約 30%が市外に通勤通学しているという結果でした。

昼間の人口比率が一番低かったのは富山県射水郡下村（現在の射水（いずみ）市）で約 63%。続いて大阪府豊能郡豊能町で約 64%。逆に昼間人口比率が一番高かったのは東京都千代田区で約 2,047%。続いて大阪府中央区で約 761%。

富士見市は全国で 13 番目に昼間人口の比率が低い都市でした。

答え③

【問題 8】平成 24 年度（2012）現在、富士見市内には公民館は何ヶ所あるか。

①1 ヶ所
②2 ヶ所
③3 ヶ所
④4 ヶ所

【問題 9】鶴瀬公民館のマスコットキャラクターは次のうちどれか。

①つるちゃん
②つるぼう
③つる太郎
④つる子

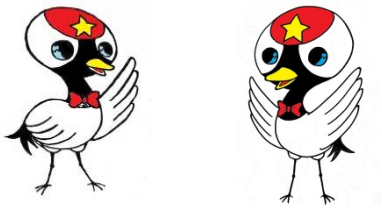
【問題 10】市内には何ヶ所の都市公園があるか。（平成 23 年（2011）現在）

①18 ヶ所
②26 ヶ所
③35 ヶ所
④44 ヶ所

【問題 8 解説】昭和 32 年（1957）に鶴瀬公民館、南畑公民館、水谷公民館が小学校内に設置されました。その後、昭和 34 年（1959）に鶴瀬公民館、昭和 38 年（1963）に南畑公民館、昭和 41 年（1966）に水谷公民館が建設されました。さらに昭和 45 年（1970）に鶴瀬西公民館、昭和 51 年（1976）に水谷東公民館が建設されました。現在市内には鶴瀬、南畑、水谷、水谷東の 4 つの公民館があります。
答え④

【問題 9 解説】鶴瀬公民館のマスコットキャラクターは、（現）鶴瀬公民館の開館 30 周年を記念して、平成 23 年（2011）に一般公募により決定いたしました。キャラクターは鶴瀬の“鶴”をモチーフとしており、頭に星印、両手（羽）には鉛筆と虫眼鏡を持ち、瞳は遠く富士山を見つめています。公民館利用者からは「つるちゃん」の愛称で親しまれています。
答え①

つるちゃん



【問題 10 解説】富士見市内には平成 23 年（2011）現在 44 ケ所の都市公園があります。44 ケ所の公園の中で、一番最初に出来たのが「関沢公園」（西みずほ台 1 丁目）で昭和 49 年（1974）7 月 1 日に開設されました。逆に一番新しい都市公園は「つるせ台公園」（鶴瀬西 2 丁目）で平成 23 年 4 月 5 日に開設されました。昭和 49 年当時の公園と現代の公園を比べてみるのも面白いかもしれません。
答え④

【問題 11】ミニ鉄道を走らせている公園はつぎのうちどれか。

①むさしの緑地公園
②山室公園
③権平山公園
④縄文の丘公園

【問題 12】富士見市の姉妹都市になっているのはどれか。

①セルビア共和国　シャバツ市
②ロシア連邦　ノボシビルスク市
③中華人民共和国　常州市
④スロベニア共和国　ツェリェ市

【問題 13】国土交通省関東地方整備局の主催で作成した「関東の富士見百景」に選ばれた市内のある場所とはどこか。

①びん沼周辺
②新河岸川周辺
③江川
④難波田城跡周辺

【問題 11 解説】鶴瀬駅西口から徒歩 5 分ほどの所にある「むさし野緑地公園」で、毎年 4 月から 12 月（8 月を除く）の間ミニ鉄道の運転会が行われています。運転会は、ミニ鉄道クラブの方が中心になり機関車の運転並びに安全管理を行っています。
この運転会は、昭和 55 年（1980）国際児童年を記念して、全国の自治体で初めてミニ鉄道公園（現、むさし野緑地公園）が完成してから始まりました。機関車は「ＥＤ16 型電気機関車」と「ブリタニア型蒸気機関車」（昭和 60 年（1985）度、自治宝くじ助成備品）などです。模型機関車愛好家の方々が 30 年の永きにわたり子どもたちを乗せて走り続けています。
答え①

【問題 12 解説】富士見市は昭和 57 年（1982）10 月 23 日の姉妹都市宣言により、セルビア共和国のシャバツ市と姉妹都市になりました。シャバツ市は首都ベオグラードの西方、バスで約 1 時間半のところにあります。まちの北東部には、旧ユーゴスラビア国内だけを流れる河川として、最大級のサバ川が流れており、ベオグラード市街地の北部でドナウ川と合流します。その地点まで約 80 キロメートルあることから、運河を効果的に活用した経済活動が営まれています。
答え①

【問題 14 解説】平成 18 年（2006）4 月、国土交通省関東地方整備局が美しい地域づくりの推進を目的として、「関東の富士見百景ガイドブック」を作成しました。このガイドブックは富士山が見える関東の美しい景色を一般から募集して作成されました。128 の景色の中にはびん沼から見た素晴らしい眺めの富士山も選ばれており、富士見市の面目を保っております。
答え①

【問題 14】富士見市民大学の設立年は次のうちどれか。

①昭和 53 年（1978）
②昭和 62 年（1987）
③平成 7 年（1996）
④平成 13 年（2002）

【問題 15】富士見市民大学へは何歳から入学できるか。

①15 歳以上
②18 歳以上
③20 歳以上
④特に年齢は定めはない

【問題 16】難波田城公園のマスコットキャラクターはどれか。

①なんばった
②ばった嬢
③ばったフライ
④難波田ジョージくん

【問題 14 解説】富士見市民大学は昭和 53 年（1978）に開設されました。平成 18 年（2005）からは、それまでの行政中心の運営から市民中心の運営に移行しました。さらに平成 20 年（2008）には「ＮＰＯ法人富士見市民大学」として法人化し、現在は市との協働事業として講座運営を行なっています。このような取組みは全国的にもとても珍しく注目されており、毎年春に受講生を募集しています。
答え①

【問題 15 解説】富士見市民大学は市内在住・在勤の方々が誰でも気軽に参加できる環境を目指して講座を開いております。主な講座として、文学・国際社会学・富士見の歴史・ふじみ自然塾・木と私たち・財政学・ふじみ学・市民サロン塾や、どなたでも参加できる公開講座などがあります。平成 23 年（2011）度は「ふじみ学特別講座」として子どもたちも参加して、カブト虫やクワガタ、魚採りを楽しみました。
答え④

講座風景

【問題 16 解説】平成 22 年（2010）7 月、開園 10 周年を記念して、難波田城公園活用推進協議会が難波田城公園のイメージキャラクターを一般に募集しました。応募総数は 156 点。最終審査は来園者の投票で行なわれ見事に 1 位には「なんばった」が選ばれました。
答え①

【問題 17】市制施行 20 周年の記念事業として整備された公園で、別名「せせらぎ菖蒲園」の愛称で親しまれている公園は次のうちどれか。

①文化の杜公園
②みずほ台中央公園
③山崎公園
④親水公園

【問題 18】昭和 31 年（1956）三村合併後、富士見村となって一番最初に入居が始まった団地はどこか。

①住宅公団鶴瀬第 1 団地
②富士見団地
③みずほ台団地
④アイムふじみ野

【問題 19】中央図書館の「からくり時計」は、決まった時間になると、楽しく時を告げてくれる動物たちは、クマ、トラ、キツネ、ウサギともう 1 種類はどれか。

①ネコ
②イヌ
③タヌキ
④リス

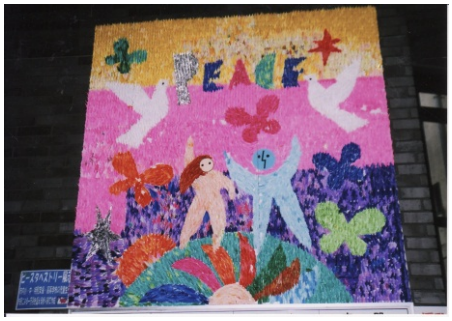
【問題 17 解説】市制施行 20 周年を記念して整備された山崎公園は「せせらぎ菖蒲園」の愛称でも親しまれており、6 月に見ごろを迎えるハナショウブの時期には市内外より毎年多くの方が訪れます。また、水と緑を基調とした園内は、春から秋にかけてさまざまな花が彩りを加え、滝から流れるせせらぎで水遊びもできるなど、世代を問わず楽しめる市民の憩いの場になっています。
答え③

左の写真は山崎公園のせせらぎ菖蒲園

【問題 18 解説】昭和 31 年（1956）3 村合併当時の人口は、10,831 人でした。富士見村で最初の開発は、昭和 32 年（1957）の春に入居が始まった東武鉄道による 38 戸の「富士見団地」です。その後、同年 11 月に入居がはじまった「住宅公団鶴瀬第一団地」と続き、昭和 36 年（1961）には「住宅公団鶴瀬第二団地」、水谷東地区の宅地開発と都市化の波は激しくなり、昭和 37 年（1962）の人口は 16,339 人となり人口の増加が顕著になってきました。
答え②

【問題 19 解説】中央図書館のからくり時計塔は、中央図書館開館と同時に造られたものです。定刻になると箱が回転して、動物たちが楽しい音楽を演奏します。登場する動物は 5 匹で、１番上は指揮者のクマ、2 番目はタイコをたたくトラ、3 番目はバイオリンを弾くキツネ、４番目はハープを奏でるウサギ、5 番目はラッパを吹くタヌキです。演奏が終わると、クマを残して４匹が同時に箱に入り、最後に指揮者のクマが挨拶をして箱に入ります。流れる音楽は、からくり時計塔オリジナルで、大人向けと子ども向けの 2 曲あり、動物たちの動きも変ります。　また、動物たちは私たち人間と同じように季節によって衣替えをしています。春用と秋用の２種類ですが、違いに気づいた方はいらっしゃるでしょうか。それぞれの動物の個性をあらわすような、なかなかおしゃれな服装です。
答え③

【問題 20】ピースフェスティバルでは市民が作った「折り鶴」により、タペストリー（壁掛け）を作成しているが、そのタペストリーに使う折り鶴は約何羽か。



①約 3000 羽
②約 5,000 羽
③約 8,000 羽
④約 10,000 羽

【問題 21】秋になると貝塚の新河岸川右岸の「〇〇街道」では約 10 万本の花がみごろになるが、その花とは次のうちどれか

①コスモス
②シクラメン
③十月桜
④雛菊

【問題 22】富士見市に住む外国籍市民は 1,667 人（平成 22 年調べ）である。第 2 位は韓国及び朝鮮、第 3 位はフィリピン、第 4 位はブラジル、では第 1 位はどこか。

①中国
②アメリカ
③インドネシア
④ベトナム

【問題 20 解説】毎年、市民が平和の願いを込めて作った折鶴が広島平和記念公園などに供えられています。それは広島市への原子爆弾投下により白血病で死亡した佐々木禎子さんが、生前に病気の恢復を祈って折り鶴を折り続けたというエピソードがあるためです。そのためピースフェスティバル実行委員会では、市民一人ひとりの平和への祈りが詰まった約 10,000 羽の折り鶴をタペストリー（壁掛け）としてフェスティバル期間中「キラリ☆ふじみ」に展示しております。
答え④

左の写真はピースタペストリー

【問題 21 解説】新河岸川の木染橋付近から上流へ１キロメートル近く、サイクリングコースに沿ってコスモスの花が咲き、通称コスモス街道と呼ばれています。

地元町会・寺下商店街と花好き有志のコスモス会のみなさんが種まきや除草作業に精を出して育てています。会ではコスモスを通じてふれあえるイベントなども行っています。
答え①

コスモス街道

【問題 22 解説】現在、富士見市には多くの外国籍の方が暮らしております。1 番多い国籍が中国（692 名）、2 番目が韓国及び朝鮮（340 名）、3 番目がフィリピン（296 名）、4 番目がブラジル（80 名）、5 番目が米国（24 名）の結果でした。（平成 22 年度（2010）調べ）

市では外国籍市民向けに、広報ふじみなど、数ヶ国語で便宜を図っています。
答え①

【問題 23】東武東上線鶴瀬駅東口には二基の記念碑があるが、「鶴瀬駅停車場記念碑」ともう一基はどれか。

① 鶴瀬鉄道記念碑
② 東武鉄道記念碑
③ 鶴瀬駅開設記念碑
④ 鶴瀬駅の碑

【問題 24】東武東上線みずほ台東口駅前広場中央施設モニュメント（記念物）として、金属色の柱と青銅色の球体が設置されているがその名称はどれか。

①日光
②瑞光
③光明
④陽光

【問題 25】東武東上線みずほ台駅西口駅前広場中央に人々の親和、協和、融和を表しているモニュメント（記念物）が設置されているが、その名称はどれか

①和
②みずほ
③太陽
④あけぼの

【問題 23 解説】市内には 3 つの駅があり、駅前には駅の開設やまちづくりのシンボルとしてモニュメント（記念建造物）があります。鶴瀬駅は大正 3 年（1914）5 月 1 日、東武鉄道東上線の駅として開設されました。それを記念して駅開設の経緯や開通した日の様子を伝える「鶴瀬駅之碑」と建設者有志、寄付者名・寄付金などが刻まれた「鶴瀬駅停車場記念碑」があります。2 基の記念碑は、駅の上り線最後部線路側（川越方面・市立自転車駐車場裏）にあります。
答え④

左の写真は鶴瀬駅停車場記念碑

【問題 24 解説】みずほ台駅は昭和 52 年（1977）10 月 21 日、東武鉄道東上線の駅として開設されました。東口にはモニュメント、名称「瑞光（ずいこう）」が設置されています。金属色の柱と青銅色の球体から構成され、球体はつきることのない生命感を、又、上に伸びる 3 本の柱は 3 村の合併による歴史的流れと豊かな市民生活の確立、社会福祉の都市施設の充実及び社会文化の振興を表現しています。
答え②

【問題 25 解説】みずほ台駅西口駅前広場中央施設として、シンボルモニュメント、名称「和（わ）」が設置されています。モニュメント「和」と三条の流れるような波長から構成され、人々の親和、協和、融和を基礎にして新しい街造りを表現し「和＝輪」の造形と市内の３つの川（荒川、新河岸川、柳瀬川）の治水、又、雲間を昇りくるあかつきの太陽と恩恵を表し無限の発展を象徴しています。
答え①

【問題 26】東武東上線ふじみ野駅東口駅前にまちづくりのシンボルとしてモニュメント（記念物）があるがその名称は何か。

①富士見夢の駅
②富士見夢のゴンドラ
③富士見夢の船
④富士見夢のゆりかご

【問題 27】東武東上線ふじみ野駅西口駅前にまちづくりのシンボルとしてモニュメント（家族の温かさ安らぎをイメージした記念像）があるが、その名称は何か。

①家族の絆
②家族の団らん
③家族の団結
④家族の肖像

【問題 26 解説】ふじみ野駅前には、勝瀬原区画整理事業のひとつとして、東口と西口にまちづくりのシンボルとしてモニュメントがつくられた。東口駅前施設、名称「富士見夢の船」が設置されています。夢の船着場（駅）から大きな夢を抱き夢の船に乗って大海原に乗り出すことまた帰ってくること、そして柱が積みあがった形は智恵を重ねて１つの課題を解決しながら住みよい街にすることなどを暗示し、富士山の溶岩や市の木「ケヤキ」が育つ姿をイメージしています。
答え③

左の写真はふじみ野駅東口名称「富士見夢の船」

【問題 27 解説】ふじみ野駅西口に駅前施設モニュメント、名称「家族の肖像」が設置されています。左から父・子・母・孫・祖父で構成された家族の温かさ、安らぎを思い人々とともに富士見市に暮らす幸せをイメージしています。
答え④

左の写真は家族の肖像

【問題 28】富士見市の水道水は、荒川から取り入れられた県水と市内の井戸水を使っているが、その比率はどの位か。

①県水約 90％・井戸水 10％
②県水約 80％・井戸水 20％
③県水約 70％・井戸水 30％
④県水約 60％・井戸水 40％

【問題 29】富士見市には浄水場が 3 ヶ所あるが、間違いはどれか。

①東大久保浄水場
②南畑浄水場
③鶴瀬浄水場
④水谷浄水場

【問題 30】ゴミ処理業務を運営している志木地区衛生組合富士見市環境センターを構成している自治体は、富士見市と次のうちどれか。

①志木市、新座市
②新座市、三芳町
③ふじみ野市、三芳町
④ふじみ野市、川越市

【問題 28～29 解説】富士見市の水道水は荒川から取り入れられた、埼玉県大久保浄水場の県水を約 80%受水し、残り 20%は市内 7 ヶ所の井戸水を使用しています。浄水場の東大久保浄水場・南畑浄水場・水谷浄水場や鶴瀬西配水場を経て工場や学校、病院、そして多くの家庭に届けられています。
答え②

答え③

【問題 30～31 解説】行政サービスの一部を共同で行うことを目的として地方自治法により、複数の普通地方公共団体や特別区が設置する組織を一部事務組合と呼んでいます。これによって、私たち市民の生活もより快適になっています。富士見市が関わっている一部事務組合として以下のものがあります。環境衛生として

・志木地区衛生組合　富士見市、志木市、新座市（ゴミ処理）
・入間東部地区衛生組合　富士見市、ふじみ野市、三芳町の二市一町（し尿処理、火葬場・斎場の運営など）

防災として

・入間東部地区消防組合　富士見市、ふじみ野市、三芳町の二市一町（防災・消防・救急など）

答え①

【問題 31】し尿及び浄化槽汚泥処理や入間東部広域斎場（しののめの里）等を管理・運営している入間東部地区衛生組合を構成している自治体は富士見市と次のうちどこか。

①志木市、ふじみ野市
②新座市、三芳町
③ふじみ野市、三芳町
④ふじみ野市、川越市

【問題 32】市内、上沢の民芸品のひとつとして喜ばれている縁起ものの凧は何というか。

①扇凧
②大凧
③奴さん凧
④連凧

【問題 33】富士見市に残されている伝統的な凧の名前はどれか。

①連凧
②大凧
③角凧
④扇凧

答え③

富士見市のマンホール

【問題 32 解説】富士見市の「扇凧」（創始者　市内上沢の大曽根龍蔵氏）は末広がりの縁起ものとして、幕末から明治を経て現在もつくられ、140 年以上の歴史をもっている名物凧です。
特徴としては、左右に“風袋”があり、微風でもよく揚がります。
絵は宮本武蔵、牛若丸、弁慶、金太郎など 8 種あり郷土の民芸品としてよろこばれています。
答え①

扇凧

【問題 33 解説】富士見市上沢の初代大曽根龍蔵氏が杯凧（さかずきだこ）をモデルに考案したものを扇凧（おうぎだこ）と呼びます。3 代目大曽根勝男氏の時に再興し、現在は扇凧保存会の方々や大曽根氏により受け継がれています。
答え④

【問題 34】富士見市内には東武東上線の 3 駅があるが、富士見市内に無い駅はどれか。

①ふじみ野駅
②鶴瀬駅
③みずほ台駅
④柳瀬川駅

【問題 35】現在東武東上線に有楽町線と副都心線が相互乗り入れしているが、有楽町線の乗り入れはいつか。

①昭和 50 年（1975）
②昭和 57 年（1982）
③昭和 62 年（1987）
④平成 4 年（1992）

【問題 36】富士見市は東京都内への通勤の便利さにより発展したという要素も多くあるが、では東武東上線池袋起点より鶴瀬駅は何ｋｍの所にあるか。

①18ｋｍ
②22ｋｍ
③25ｋｍ
④28ｋｍ

【問題 34～35 解説】東武東上線は、池袋駅から寄居駅までの路線です。富士見市内にはみずほ台駅（東みずほ台）・鶴瀬駅（鶴馬）・ふじみ野駅（ふじみ野東）の 3 駅が有ります。そして昭和 62 年（1987）有楽町線に加え、平成 20 年（2008）には副都心線と東武東上線の相互乗り入れが実現したことにより、池袋まで 30 分、渋谷まで 45 分、都心まで 1 時間と、交通の便が一層良くなりました。
答え④

答え③

【問題 36～37 解説】東武東上線の「鶴瀬駅」は大正 3 年（1914）5 月 1 日開設、平成 22 年（2010）現在 1 日の乗降客は約 4 万人で池袋起点より 22ｋｍです。鶴瀬駅の碑と鶴瀬停車場記念碑が鶴瀬駅ホームの上り線路脇（川越より）に設置されています。西口駅前の左手には富士見市の花である藤棚があります。
答え②

【問題 37】東武東上線鶴瀬駅は富士見市内で最初に出来た駅であるが、いつ開設したか。

①昭和 17 年（1942）
②昭和 5 年（1930）
③大正 10 年（1921）
④大正 3 年（1914）

【問題 38】東武東上線のみずほ台駅はいつ開設したか。

①昭和 30 年（1955）
②昭和 41 年（1966）
③昭和 52 年（1977）
④昭和 63 年（1988）

【問題 39】東武東上線のふじみ野駅は富士見市内で一番新しい駅であるが、いつ開設したか。

①昭和 60 年（1985）
②平成 5 年（1993）
③平成 10 年（1998）
④平成 13 年（2001）

答え④

みずほ台駅西口駅前広場　「和」

【問題 38 解説】東武東上線の「みずほ台駅」は昭和 52 年（1977）10 月 21 日に開設されました。平成 22 年（2010）現在１日の乗降客は約 4 万人で池袋起点より 20.6ｋｍです。東口駅前広場にはモニュメント「瑞光」（ずいこう）高さ 8m と、西口駅前広場にはモニュメント「和」(わ)直径 2.6m があり、地域の発展を象徴しています。
答え③

【問題 39 解説】東武東上線の「ふじみ野駅」は平成 5 年（1993）11 月 15 日開設されました。平成 22 年（2010）現在１日の乗降客は約 6 万人で池袋起点より 24.2ｋｍです。東口駅前広場にはモニュメント「富士見夢の船」西口広場には「家族の肖像」があり、住みよい街にすることなどを暗示しています。
答え②

【問題 40】ふじみ野駅の一日の平均乗降客数は次のうちどれか。（平成 21 年度調べ）

①約 30,000 人
②約 40,000 人
③約 50,000 人
④約 60,000 人

【問題 41】富士見市を通る東武東上線には、地下鉄副都心線が乗り入れをしているが、その副都心線では、直通で都内のどこまでいけるか。

①渋谷駅
②新木場駅
③東京駅
④上野駅

【問題 42】富士見市は通勤の便利さから発展してきたとも考えられるが、鶴瀬駅から池袋駅まで準急利用で所要時間はどれほどか。

① 約 10 分
② 約 20 分
③ 約 30 分
④ 約 40 分

【問題 40 解説】富士見市内には 3 つの駅（東武東上線）があります。一番古い駅は鶴瀬駅（大正 3 年（1914）5 月開設）、続いてみずほ台駅（昭和 52 年（1977）10 月開設）、そして一番新しいのがふじみ野駅（平成 5 年（1993）11 月開設）です。3 駅で一番乗降客数が多いのがふじみ野駅で、平成 21 年度（2009）の一日平均乗降客数は 60,861 人（乗車数 30,717 人＋降車数 30,144 人）でした。
答え④

【問題 41～42 解説】現在東武東上線は、池袋駅から寄居駅まで運行しています。そして、地下鉄有楽町線が昭和 62 年（1987）に、地下鉄副都心線が平成 20 年（2008）東武東上線との相互乗り入れが実現したことにより、池袋まで 30 分、渋谷まで 45 分、都心まで 1 時間と、交通のアクセスが一挙に短縮し、益々便利になってきました。
答え①

答え③

【問題 43】富士見市内を主に、公共施設への交通手段として「循環バス」が、年末年始を除いて運行し、市民に親しまれているが、そのバスの愛称は何か。

①さくら号
②たんぽぽ号
③ふれあい号
④ふじみ号

【問題 43 解説】富士見市内には、「循環バス　ふれあい号」が平成 9 年（1997）から市民の公共施設への交通手段や、通勤・通学・高齢者・障害者等に配慮して、市民に親しまれています。乗り合いバス方式で、車椅子用ステップリフト付き小型車種 2 台（定員 36 名）が年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除いて運行しています。平成 24 年 4 月現在、運賃は 170 円（子ども 90 円）です。市内在住の 70 歳以上の人や身体障害者には、特別乗車証を発行し、弱者にやさしい交通手段といえます。

答え③

富士見市内循環バスの車両（鶴瀬駅東口にて）

【問題 1】市内南畑地域で採れる梨は、市内外で好評を得ているが、最も多い銘柄は次のうちどれか。

①幸水、豊水
②幸水、彩玉
③豊水、長十郎
④豊水、彩玉

【問題 2】市内の露地栽培で収穫量の多い農産物で米に次いで多いものはどれか。

①ほうれん草
②かぶ
③大根
④ごぼう

【問題 3】水谷東の辻谷工業では、オリンピック競技で使用するものを作っているが、その競技は次のうちどれか。

①槍投げ
②砲丸投げ
③ハンマー投げ
④円盤投げ

【問題 1～2 解説】富士見市は、平成 17 年（2005）現在、市の面積の約 40％（8ｋ㎡）が農地です。地形は南西部が武蔵野台地の畑作地帯、北東部が荒川低地の水田地帯です。畑作では主にかぶ、ほうれん草、大根、胡瓜などの露地野菜が盛んで、なかでも「かぶ」は県内第 2 位の生産量です。（平成 18 年（2006））
また、南畑地域では、梨の生産とトマト、胡瓜などのハウス栽培を盛んに行っております。特に梨農家は、当初 8 軒だったのが平成 24 年現在、18 軒で生産しています。銘柄は幸水、豊水が中心で他に長十郎、彩玉があります。
答え①

答え②

【問題 3 解説】市内水谷東の辻谷工業では、砲丸投げの砲丸を製造しており、アトランタ大会（1996）では決勝に進出した 12 人の選手がすべて辻谷工業の砲丸を使用しました。
辻谷工業の砲丸は、ソウルオリンピック（1988）から公式採用されており、アトランタ大会、シドニー大会（2000）、アテネ大会（2004）と 3 大会連続で、上位 8 位の入賞者全員がこの会社の砲丸を使用していたことで一躍知られるようになりました。
答え②

【問題 4】市内水子にある武田レッグウェアーでは、画期的なあるものを開発しており、有名スポーツ選手にも使用されているが、それは次のうちどれか。

①スパイク
②ソックス
③アンダーウェア
④テーピング

【問題 5】上南畑の谷合園芸では、冬になるとお歳暮やクリスマス用に出荷するため、ある花を育てているが、その花とは次のうちどれか

①パンジー
②ベゴニア
③菊
④シクラメン

【問題 6】上南畑の株式会社アキモトでは、子どもたちに“感触”を楽しんでもらうため、ある物を市内小学校に無償で提供しているが、それは次のうちどれか。

①椅子
②座布団
③下駄
④畳

【問題 4 解説】市内水子の武田レッグウェアの「RL SOCKS（アールエルソックス)」は、右と左それぞれの指に合わせた「立体設計」の特許製法です。親指側の“つっぱり”小指側の“たるみ”を解消、自然で楽な履き心地でウォーキングに最適です。また「5 本指ソックス」は各指の大きさに合わせて、指の下側（足裏）を立体編（あみ）にしています。日本ウォーキング協会推薦商品です。有名スポーツ選手も愛用しています。
答え②

【問題 5 解説】市内上南畑の園芸農家では、お歳暮やクリスマス用に出荷するシクラメンの手入れ作業は 11 月から年末にかけてピークを迎えます。川越シクラメン研究会の谷合園芸では、大小 10 棟のハウスに赤、白、ピンクの色とりどりの鉢が並びます。また東京市場、そして市内で直売も行なっています。
答え④

【問題 6 解説】嘉永 5 年（1852）創業の畳屋、上南畑地域の㈱アキモトでは、近年、生活様式の変化から「畳」に対しての愛着効果について忘れられつつあることを危惧、このままでは畳を知らない子どもが増えてしまう！と、平成 21 年（2009）より、市内小学校全校に無償で畳の活用を提供しています。子どもの成長過程で畳に座り、寝そべったり、転げまわったりして友だちとのかかわり合いを皮膚感覚で覚えることは大切なことです。また畳の香りは一種のアロマテラピーで精神集中に効果があり二酸化炭素の吸収削減もあることも実証されています。（北九州市立大　森田洋准教授）
㈱アキモトでは、3 年毎に畳替えし、子どもたちに靴を脱いで上がる。清潔好きな日本人を誇れるようにしたいと、社会貢献、地域還元の一環として行なっています。
答え④

【問題 1】毎年、4 月の下旬に行なっている「富士見市子どもフェスティバル」の会場になっているのは次のうちどれか。

①富士見市運動公園
②みずほ台中央公園
③文化の杜公園
④渡戸どんぐり公園

【問題 2】ピースフェスティバルは昭和 62 年（1987）に富士見市がある都市宣言を行なったのをきっかけとして実施されてきたが、その宣言とは次のうちどれか。

①スポーツ振興健康増進都市宣言
②人間尊重宣言都市
③富士見市非核平和都市宣言
④環境にやさしい都市宣言

【問題 3】市内を流れる柳瀬川では、河川に親しみを持ち、その周辺の自然環境にも関心を持つための事業として開催しているのは次のうちどれか。

①やなせ川の昆虫を探そう！
②やなせ川いかだラリー
③やなせ川さかなとり大会
④やなせ川みずくさ採集大会

【問題１解説】昭和 49 年(1974)12 月、第 1 回目の富士見市子どもフェスティバルが開催されました。会場は当時の鶴瀬西小学校で、その後、会場を市役所前広場、みずほ台中央公園、南畑小学校周辺等を使用しながら、平成 9 年（1997・第 24 回）から現在の文化の杜公園を会場として開催しています。毎年、多くの来場者が訪れ、昭和 49 年（1974）の第 1 回時は 900 人程度であった来場者が現在では延べ 30,000 人を超える親子連れや子どもたちが訪れています。
答え③

【問題 2 解説】富士見市は昭和 62 年（1987）に「富士見市非核・平和都市宣言」を行いました。市はこれを記念すると同時に、平和都市宣言の理念を多くの市民に広げることを目的としてピースフェスティバルを実施しております。
答え③

【問題 3 解説】やなせ川いかだラリーは、柳瀬川の環境保全に関心を持たせるため、市民が実行委員会をつくり平成 5 年（1993）から毎年行なわれています。参加者は思い思いの衣装を身につけ、手作りのいかだで志木大橋から富士見橋までを下ります。
主催は水谷東公民館・やなせ川いかだラリー実行委員会です。

答え②

【問題 4】水子貝塚公園で毎年 9 月初旬に行うまつりは次のうちどれか。

①水子貝塚星空シアター
②水子貝塚星空フェスティバル
③水子貝塚縄文まつり
④水子貝塚竪穴式フェスティバル

【問題 5】「新春縄文マラソン大会」では、同時開催として「縄文 5 種競技」が開催されているが、ヤリなげ、弓矢、火おこし、宝さがし、あと 1 種目は次のうちどれか。

①土器作り
②丸太ひき
③荒縄作り
④貝殻はこび

【問題 6】毎年 5 月に行なっているヘルシーウォークは、2 つのコースが設定されており、約 7 キロを歩くファミリーコースと、約 12 キロを歩くコース名は次のうちどれか。

①韋駄天コース
②健脚コース
③長距離コース
④ロイヤルコース

【問題 4 解説】水子貝塚星空シアターは、平成 8 年（1996）から毎年開催しています。公園内で涼み、大型スクリーンで映画を観ながら楽しいひと時を過ごしたり、その他の行事や模擬店も出て、多くの市民に親しまれています。
答え①

【問題 5 解説】水子貝塚公園をスタート・ゴール地点とする「新春縄文マラソン大会」は、富士見市体育協会主催で毎年 1 月の成人の日に行われています。同時に「縄文 5 種競技」が開催され、ヤリ投げ・弓矢・火おこし・宝さがし・丸太ひきなどが行われます。当大会の第 1 回は昭和 44 年（1969)「ロード・レース」として開催され、その後「富士見ロード・レース大会」、そして現在の「新春縄文マラソン大会」と名称を変え、平成 24 年（2012）1 月で 42 回（参加者 916 名）を数えます。
答え②

【問題 6 解説】健康増進を目的とする、ヘルシーウォークは毎年 5 月に開催され多くの方が参加しています。コースは約 7 キロのファミリーコースと約 12 キロの健脚コースがあります。
歩数当てクイズや、縄文鍋のサービス、仮装での参加もあり人気があります。主催は富士見市スポーツ推進委員連絡協議会・富士見市・富士見市教育委員会です。

答え②

【問題 7】次の市内で行なわれる祭り・イベントとその開催時期の組合せで間違っているのはどれか。

①富士見市子どもフェスティバル　―　４月
②難波田城公園まつり　―　５月
③水子貝塚星空シアター　―　９月
④富士見ふるさと祭り　―　10 月

【問題７解説】
①「富士見市子どもフェスティバル」は毎年４月に開催され子どもが主役の春のお祭りです。鼓笛隊のパレード、ステージ発表、フリーマーケット、縁日コーナー、ふれあい体験チャレンジコーナーなど子どもたちの笑顔が溢れています。

②「難波田城公園まつり」は、平成 12 年（2000）から毎年 6 月に開催されています。武者行列、火縄銃演武は迫力満点です。古民家前では太鼓が演奏され、また昔の遊び体験・人力車などが楽しめます。

③「水子貝塚星空シアター」は、平成８年（1996）から毎年９月に開催されています。広場では勾玉（まがたま）づくりや火起しなどの縄文体験・ライブや子どもみこしなどイベントがあり、夜は満天の星空の下で映画が楽しめます。

④「富士見ふるさと祭り」は、平成 17 年(2005)から毎年 10 月に開催され、富士見市最大のお祭りです。市民の参加と交流、地元産の出品にこだわる地域に密着したお祭りで、富士見市をまるごと体感できます。
答え②

富士見ふるさと祭り

【問題 8】勝瀬の榛名神社で、毎年 4 月 10 日に行なわれている祭り「はんなさま」では、毎年里神楽とあるものが演じられるが、それはつぎのうちどれか。

①獅子舞
②車人形
③雅楽
④囃子

【問題 9】諏訪 2 丁目の諏訪神社では、8 月 28 日が例祭にあたり、市民俗文化財の勝瀬囃子が奉納されるが、もうひとつはどれか。

①獅子舞
②相撲
③歌舞伎
④能

【問題 10】田園の中で緑豊かな木々に囲まれた南畑八幡神社。年 2 回、悪疫退散・五穀豊穣を願って獅子舞が奉納されるが、7 月と何月か。

①1 月
②4 月
③10 月
④12 月

【問題８解説】「はんなさま」と親しまれている勝瀬の榛名神社では、毎年４月 10 日に祭りが行われています。

10 時ごろから、植木市が立ち 30～40 店が並びます。そして多くの屋台も並び賑やかです。午後からは、里神楽やお囃子（市指定民俗文化財）が演じられます。「はんなさま」は桜の見どころでもあり、大いに楽しめる場所です。

答え④

勝瀬囃子

【問題９解説】諏訪２丁目の諏訪神社では、古くから「おすわさま」と呼ばれ地域で親しまれている神社のお祭りが行われます。毎年８月 28 日に例大祭が行われ、露店が連なり、近隣からも訪れるほど多くの人で賑わいます。

夕方からは、市指定民俗文化財になっている勝瀬囃子（はやし）、そして渡戸獅子舞が奉納され、祭りの見どころになっています。夏の夕暮れ時、軽やかなお囃子の音色を聞きながら、そぞろ歩きを楽しむことができます。

市民大学講座「木と私たち」のグループが竹で作った灯ろうに火をともし、しみじみとした味わいを感じることができます。

答え①

【問題 10 解説】田園の中で緑豊かな木々に囲まれた南畑八幡神社では、毎年７月と 10 月に、悪疫退散（あくえきたいさん）・五穀豊穣（ごこくほうじょう）を願って獅子舞が奉納されます。獅子舞は市指定民俗文化財になっており、南畑八幡神社獅子舞保存会のみなさんにより伝承されています。夕方４時ごろから、笛の音とともに舞い始めます。

答え③

【問題 11】毎年 10 月に行なわれている「富士見ふるさと祭り」は 3 つの祭りを統合してできたが、「ふじみ市民まつり」「環境フェア」ともうひとつはどれか。

①産業祭
②収穫祭
③菜の花まつり
④子どもフェスティバル

【問題 12】南畑の農村詩人、渋谷定輔（ていすけ）夫妻らが描かれている「この風の音を聞かないか」と題した油絵が展示されている場所はどこか。

①南畑公民館
②鶴瀬コミュニティセンター
③富士見市役所
④難波田城資料館

【問題 13】2012 年のロンドンオリンピック女子レスリングで見事金メダルを獲得した富士見市在住のメダリストは誰か。

①伊調　馨
②小原日登美
③吉田沙保里
④浜口京子

【問題 11 解説】長い間、富士見市の代表的なイベントとして市民の皆様に親しまれてきた「ふじみ市民まつり」は、秋に行われていた「産業祭」、「環境フェア」と統合し 、平成 17 年（2005）から 「富士見ふるさと祭り」と題し、新たなお祭りとして生まれ変わりました。毎年 10 月に文化の杜公園周辺にて開催しています。
この祭りは富士見市最大の祭りで、市民の参加と交流、地元産の出品で“まるごと”富士見を体感できます。
答え①

左の写真は富士見ふるさと祭り

【問題 12 解説】昭和 61 年（1986）11 月、市内南畑出身の農村詩人、渋谷定輔氏著書「農民哀史から 60 年」の出版を記念して、渋谷氏と親交の厚い画家、阿伊染徳美（あいぜんとくみ）氏から「この風の音を聞かないか」と題した 150 号の油絵が、富士見市に寄贈され、鶴瀬コミュニティセンターのホールロビーに展示されております。作品の内容は、渋谷定輔氏と共に農民運動に参加し、若くして命を捧げた黎子（れいこ）夫人や、ポーランドの女性社会運動家ローザ・ルクセンブルグ氏も描かれています。
答え②

【問題 13 解説】2012 年のロンドンオリンピックの女子レスリング 48 キロ級で、富士見市在住の小原日登美（おばらひとみ）選手は、五輪初出場で見事に金メダルを獲得しました。2007 年までは世界選手権の 51 キロ級で 5 度優勝しましたが、51 キロ級は五輪で実施されず、48 キロ級は妹の小原真喜子選手が戦っていました。55 キロ級には世界王者の吉田沙保里選手がいたため 2008 年の世界選手権での 6 度目の優勝を最後に現役を退きました。しかし、妹が引退し「自分に代わって五輪を目指してほしい。」とのことから再び挑戦して見事夢を叶えました。
答え②

【問題 14】漫画『釣りバカ日誌』は幅広い層から人気を得ている。主人公のハマちゃんが住んでいた公団住宅は、作者が住んでいた市内の住宅がモデルといわれているが、その漫画家は。

①秋本　治
②浦沢直樹
③あだち充
④北見けんいち

【問題 15】作家、弘兼憲史の漫画の主人公で、市内鶴瀬に住んでいたのは誰か。

①島 耕作（しま こうさく）
②サラリーマン金太郎
③只野 仁（ただの ひとし）
④喪黒 福造（もぐろ ふくぞう）

【問題 16】鶴瀬地区の方言で「そらっぺこいだ」とはどういう意味か。

①うわのそらだ
②嘘（うそ）云った
③知らぬふりだ
④乱暴な言葉だ

【問題 14 解説】原作「やまさき十三」、画「北見けんいち」の代表作『釣りバカ日誌』は、映画化もされ幅広い層から人気を得ています。漫画の主人公ハマちゃんが住んでいた公団住宅は、当時北見氏が両親と住んでいた市内鶴瀬の県営住宅がモデルといわれています。
答え④

【問題 15 解説】漫画『課長 島耕作』は、作者弘兼憲史による日本の漫画で雑誌『モーニング』（講談社）に、昭和 58 年（1983）から平成 4 年（1992）まで掲載されました。シリーズ作品に『部長 島耕作』、『取締役 島耕作』、『常務 島耕作』、『専務 島耕作』、『社長 島耕作』があり、雑誌『イブニング』には『ヤング 島耕作』、『係長 島耕作』などがあります。主人公の島耕作は 33 歳のとき、市内鶴瀬の新築物件 1,750 万円で購入し住んでいた設定になっています。
答え①

【問題 16～18】「そらっぺこいだ」は鶴瀬地区の方言で嘘（うそ）云ったを、「がっこさがり」は水子地区の方言で小学校卒業後を「せー（い）かち」は南畑地区の方言で皂莢虫（さいかちむし）すなわちカブトムシの別称を意味します。
答え②

【問題 17】水子地区の方言で「がっこさがり」とはどういう意味か。

①小学校下校後
②小学校落第
③小学校卒業後
④小学校入学後

【問題 18】南畑地区の方言で「せー（い）かち」とはどういう意味か。

①せっかち
②背が高い
③勢いがある
④カブトムシ

答え③

答え④

富士見の方言

鶴瀬

方言	意味	方言	意味
あまっこ	女、女性	こんにちさま（今日様）	太陽
いかっせい・やべ	行きなさい	じんばら	内臓
いら	多く、甚だ、大変	そらっぺーこいだ	うそ云った
えっかる・のっかる	乗る	だっぺ	霜柱
おき	火	だぶ	馬鹿
おじゃん	終わり、失敗、だめになる	ちゃん	父
おんじ	弟	てーへーらく	わがまま
くんろ・くんな	下さい	ねえ	姉
こく・こいだ・こけ・こじく	云う（悪口を云うとき）	ねんねっこ	人形

水子

方言	意味	方言	意味
あにか	何か	しっぺた	芋のはじ
いったんべー	行ったろう	せど	後方
いっぱしった	行ってしまった	だんべ	ことばのあとにつける言葉
おいちゃーだよ	なくなってしまった	とろっぴしょう	度々
おーとして	ゆっくりして	にちゅう	いくじなし
おごっちゃね	無駄遣いしないで	のがた	畑作地域
がっこさがり	小学校卒業後	ぶっくれた	打ちこわれた
きされんで	これません	へしら	あとあと、やたらに
さと	水田地域	やわ	弱い

南畑

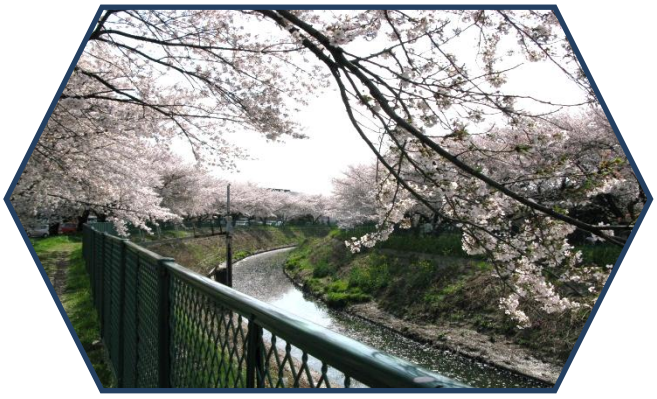
方言	意味	方言	意味
あきれたもんだ	あきれた	とぶぐち	玄関・戸口
あすびひ	休日	どんぶ	とんぼ
あったらもん	惜しい	にしらー・てめー	おまえ
あばな	さようなら	ぬくとくなる	暖まる
あんべー	具合	ねこっかぶる	気持ちの知れない人
いける	埋める	のめっこい	なめらか
いたべっこ	板	のろま	愚か者
いっくら	幾度も	はしっこい	賢い
いっける	乗せる	はなえる	準備
いっちまー	行ってしまう	はねる	終わる
いてる・しもげる	凍る	はらがくちー	腹一杯
いやんべー	いい加減	ばんがた	夕方
うそっこき	うそつき	ひーるんぼ	ひる（昼）
うるったら	ぶらぶら歩き	ぶちこむ	打込む
うんがいつき	雨が降り続く	ふんと	本当
えべすこ	恵比寿講	へざっころ	ひざ（膝）
おしみり	雨降り	ほーたろ	ほたる（蛍）
おつけ	味噌汁	まねーた	まな板
おっぺす	押す	みみっちー	すばしこい
おめーさん	お前さん	めんめず	みみず
かったりー	くたびれた	もりっこ	こもり（子守）
かっちらかす	かき散らす	やたら	ふだん（普段）
かんご	かご（籠）	やっけーだ	面倒くさい
かんます	掻きまわす	やでも	いやでも
きびっしょ	きゅうす（急須）	やべ	来い
けーど	かいどう	やんべー	やりましょう
げーもねー	無駄	よーつり	魚つり
げーろ	蛙	よかんべー	いいだろう
けーんべー	帰ろう	ろくじゃねー	いい事じゃない
づうてー	大きい身体	ろくでなし	きかん坊
つんもす	燃やす	せーかち（さいかち）	かぶと虫
でーこ	大根	せんみ	せみ（蝉）
てんがけ	最初		

参考・引用文献

文　献　名	発　行　者、　著　者
歴史と緑の散歩道	入間東部地区文化財保護連絡協議会
水谷東20年のあゆみ	小川春夫
ふじみの自然	埼玉県生態系保護協会
大地に刻む農民哀史	渋谷定輔
この風の音を聞かないか	渋谷黎子
創作民話「太郎兵衛の墓」	高橋秀子作・高橋藤七話
わがまち鶴瀬	鶴瀬公民館
南畑村之沿革史	南畑村教育委員会
ふじみ 100 見	富士見市
富士見のあゆみ	富士見市
ふじみ伝説・昔ばなし	富士見市教育委員会
富士見のさんぽみち	富士見市教育委員会
富士見風土記	富士見市教育委員会
富士見市内の神社 (その 1、その 2、その 3)	富士見市教育委員会
広報ふじみ	富士見市
統計ふじみ	富士見市
富士見市公式ホームページ	富士見市
富士見市史(通史編　上巻下巻)	富士見市
富士見市市制施行 30 周年要覧	富士見市
富士見市市民便利帳 2012	富士見市
富士見市農業マップ	富士見市
勝瀬原の遺跡と文化財	富士見市遺跡調査会
ふじみの坂(作品展資料)	富士見市資料館友の会 ふるさと探訪部会
富士見湧き水ガイドブック	富士見市民大学　湧き水の会
常設展示図録	富士見市立難波田城資料館
戦国の集落と領主～水子・鶴馬～	富士見市立難波田城資料館
難波田城公園(施設案内)	富士見市立難波田城資料館

参考・引用文献

難波田城のすべて （平成 18 年企画展）	富士見市立難波田城資料館
「史跡水子貝塚」パンフレット	富士見市立水子貝塚資料館
水子貝塚の 6000＋10 年	富士見市立水子貝塚資料館
富士見市石造物調査記録（Ⅰ、Ⅱ）	富士見市資料館友の会　拓本部会
富士見市の板碑	富士見市立難波田城資料館
みずたに今昔	水谷公民館
水谷のあゆみ	水谷公民館



郷土富士見検定問題集・作成協力

（順不同・敬称略）

水子貝塚資料館、難波田城資料館、富士見市資料館友の会、
ＰＣサポートクラブ、人材バンク推進員の会、
富士見市産業振興課、富士見市協働推進課、富士見市商工会、
鶴瀬公民館

ＮＰＯ法人富士見市民大学・ふじみ学講座・研究ゼミ

稲植保美、塩入たま江、中山フジ江、村江近人、加治あゆみ、
羽賀亜矢子、菅沼重夫、石塚宏明、堀川英雄、瀬戸　篤、
千種秀信、江良和子、小山健次郎、松枝敦子

表紙デザイン　土師魁周（はじかいしゅう）

発行日／１刷発行　2012 年 9 月 11 日
２刷発行　2012 年 10 月 1 日
企画・編集／NPO 法人富士見市民大学

企画・発行:NPO 法人富士見市民大学